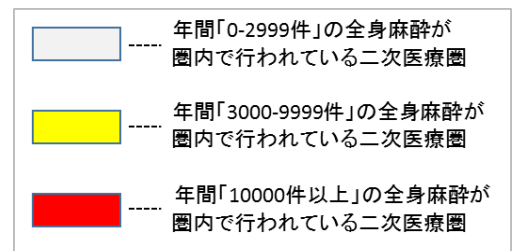
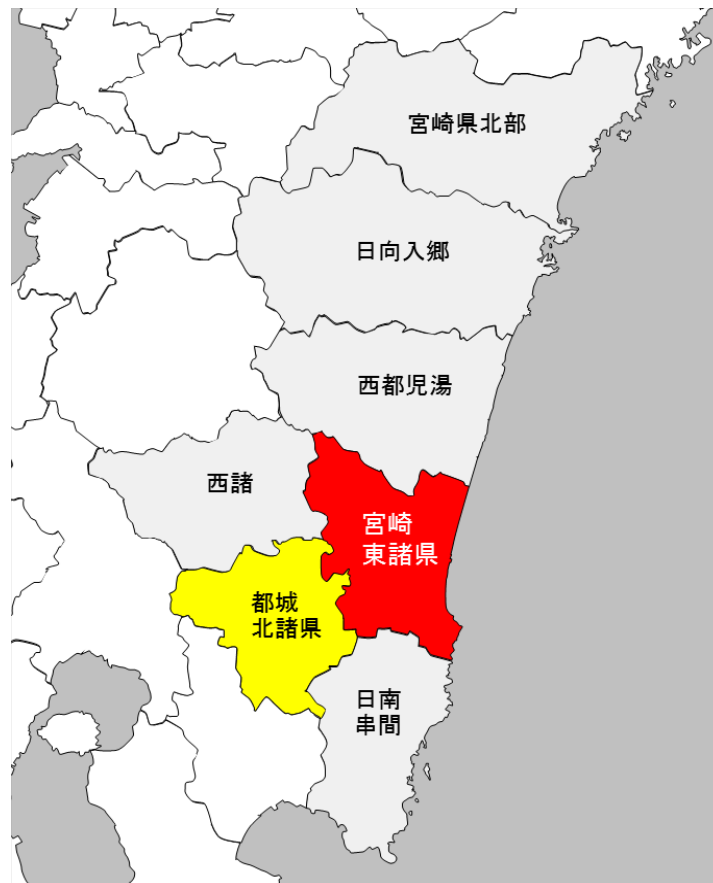


# 45. 宮崎県

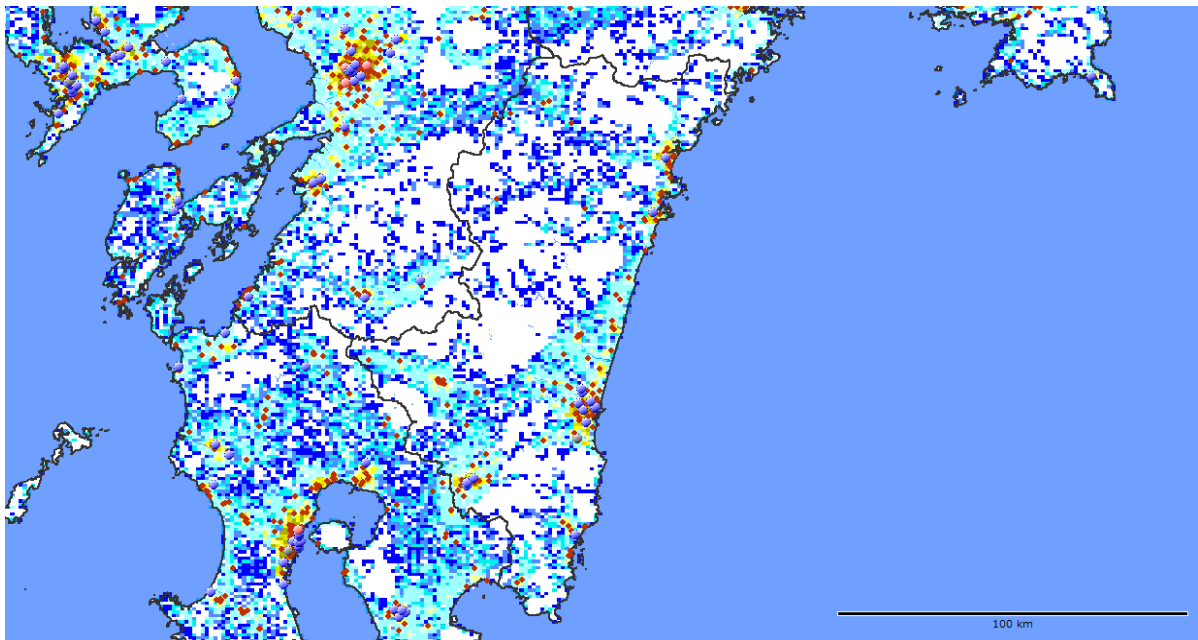


目次

宮崎県	45	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	45	-	8
1. 宮崎東諸県医療圏	45	-	20
2. 都城北諸県医療圏	45	-	25
3. 延岡西臼杵医療圏	45	-	30
4. 日南串間医療圏	45	-	35
5. 西諸医療圏	45	-	40
6. 西都児湯医療圏	45	-	45
7. 日向入郷医療圏	45	-	50

# 45. 宮崎県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (宮崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宮崎県は、総人口約1,104千人(2015年)、面積7,735km<sup>2</sup>、人口密度は143人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 宮崎県の総人口は2025年に1,023千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に877千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の171千人が、2025年にかけて205千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には216千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宮崎県の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値55)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宮崎県の一人当たり急性期医療密度指数は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は1.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は63で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宮崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,434人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が10,228床(偏差値49)、高齢者住宅等が5,206床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,462人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム53、サ高住38である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,519人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

宮崎県の総人口は、2005年1,153,042人が、2015年に1,104,069人と4%減少し、2025年の人口が1,023,170人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

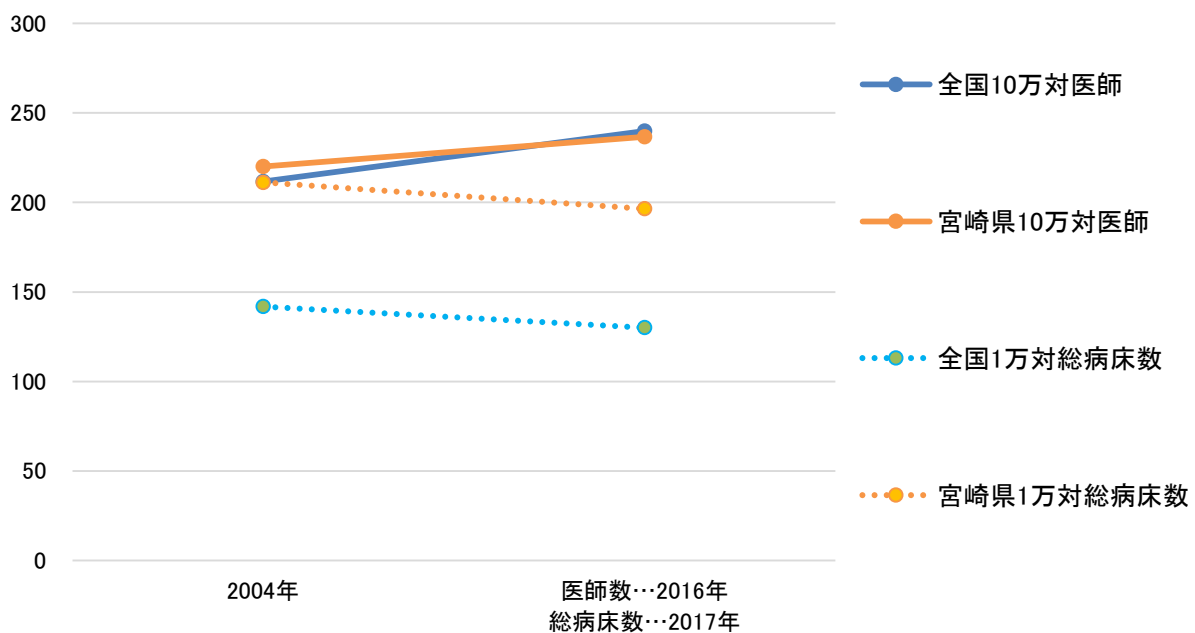
2004年の病院数が149(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2017年に140(人口10万人当たり12.7病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、13年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が896(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に884(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が24,356床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2017年に21,696床(人口1万人当たり197(全国平均130)偏差値62)と、2,660床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

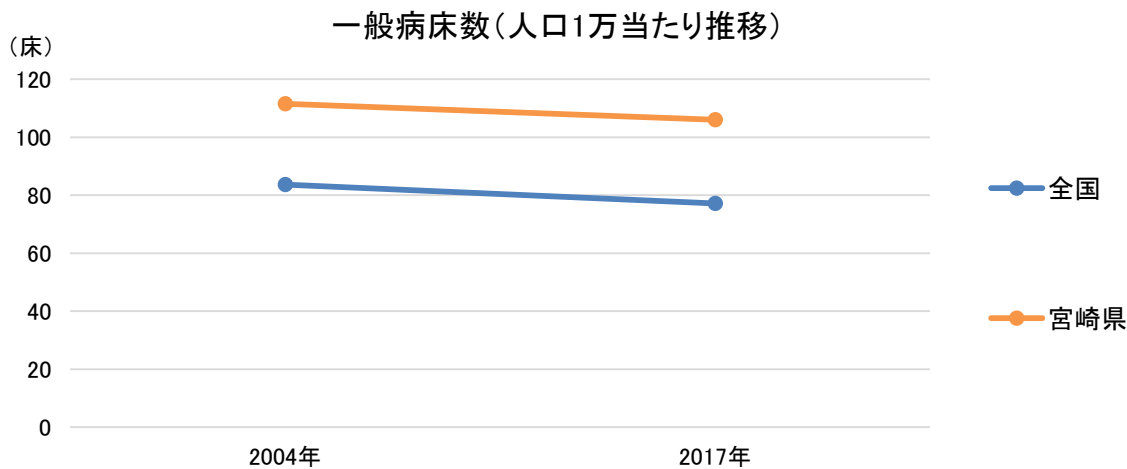
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,538人(人口10万人当たり220人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に2,613人(人口10万人当たり237人(全国平均240人)偏差値50)と、75人の増加、率にして3%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



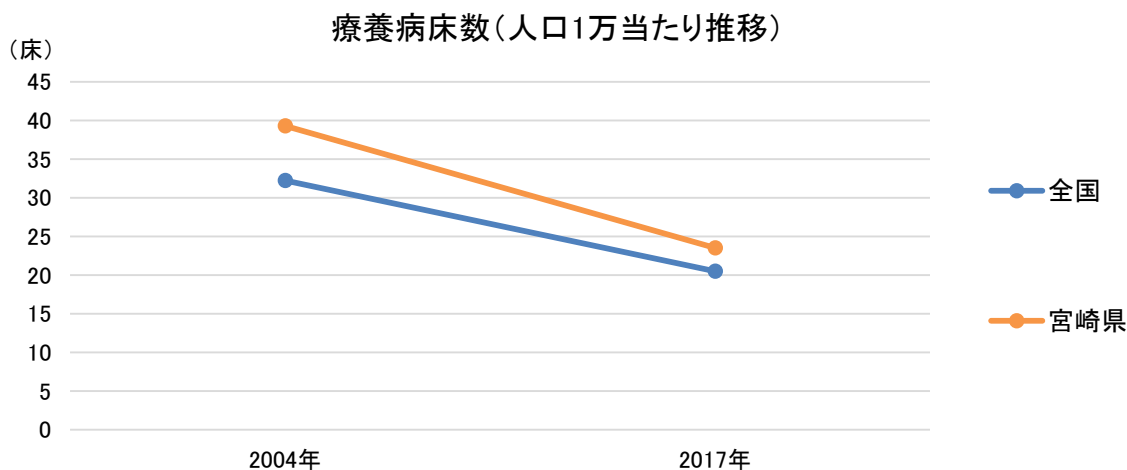
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12,854床(人口1万人当たり111(全国平均84)偏差値60)であったが、2017年に11,711床(人口1万人当たり106(全国平均77)偏差値61)と、1,143床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



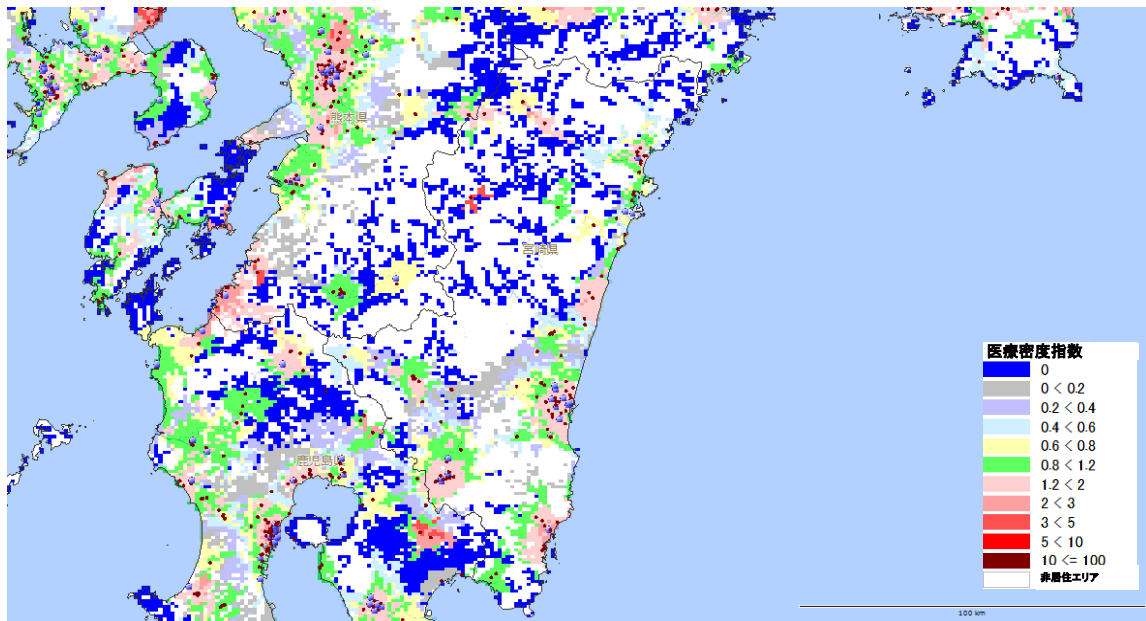
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5,134床(75歳以上1,000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2017年に4,016床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均20)偏差値53)と、1118床の減少、率にして22%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



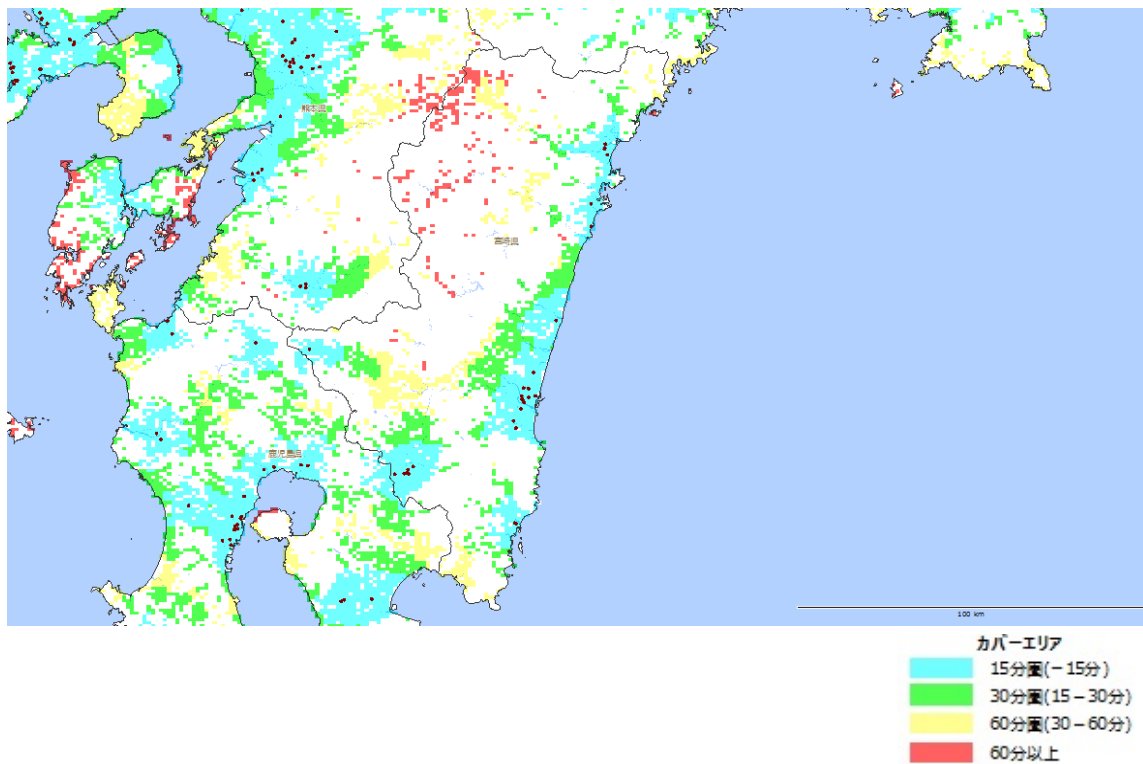
## (宮崎県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 45-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
宮崎県	1,104	36位	7,735	14位	142.7		30%	1,023	877	171	205	216	-7%	-14%	20%	5%
宮崎東諸県	428	39%	869	11%	492.3	地方都市型	26%	419	386	54	75	87	-2%	-8%	39%	16%
都城北諸県	190	17%	763	10%	249.5	地方都市型	29%	178	156	29	32	34	-6%	-12%	10%	6%
延岡西臼杵	146	13%	1,555	20%	93.7	過疎地域型	32%	128	101	26	28	27	-12%	-21%	8%	-4%
日南串間	73	7%	831	11%	87.7	過疎地域型	36%	62	46	15	15	14	-15%	-26%	0%	-7%
西諸	75	7%	931	12%	80.6	過疎地域型	35%	65	51	15	16	16	-13%	-22%	7%	0%
西都児湯	102	9%	1,154	15%	88.3	過疎地域型	32%	90	71	17	20	20	-12%	-21%	18%	0%
日向入郷	90	8%	1,631	21%	55.2	過疎地域型	31%	81	67	15	17	18	-10%	-17%	13%	6%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 45-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
宮崎県	1.12	1.46	14,387	16,682	-16.0%
宮崎東諸県	1.31	1.46	4,451	6,069	-36.4%
都城北諸県	1.10	1.79	2,278	2,682	-17.7%
延岡西臼杵	1.06	2.06	2,078	2,329	-12.1%
日南串間	1.58	1.58	1,302	1,252	3.8%
西諸	0.72	1.23	1,536	1,322	13.9%
西都児湯	0.87	1.51	1,426	1,616	-13.3%
日向入郷	0.64	1.99	1,316	1,411	-7.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 45-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
宮崎県	368	55	1.054	161	59	1.201	185	48	0.973	271	55
宮崎東諸県	347	50	1.019	140	52	1.069	184	48	0.995	262	53
都城北諸県	385	59	1.097	181	66	1.336	182	47	0.955	287	60
延岡西臼杵	355	52	0.987	160	59	1.154	174	42	0.887	278	58
日南串間	423	68	1.152	202	73	1.423	199	56	0.995	280	58
西諸	408	64	1.146	184	67	1.337	205	60	1.060	305	65
西都児湯	350	51	1.011	151	56	1.134	176	43	0.938	254	51
日向入郷	384	59	1.081	173	63	1.262	191	51	0.988	241	47
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 45-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
宮崎県	890	48	0.966	459	50	0.986	405	44	0.957
宮崎東諸県	890	48	0.967	427	47	0.923	431	51	1.015
都城北諸県	960	53	1.029	491	53	1.041	444	54	1.036
延岡西臼杵	850	44	0.926	456	50	0.982	368	35	0.876
日南串間	879	47	0.950	481	52	1.027	374	36	0.881
西諸	882	47	0.958	459	50	0.978	404	44	0.965
西都児湯	877	47	0.951	473	51	1.010	380	38	0.903
日向入郷	855	45	0.934	476	52	1.029	355	32	0.847
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 45-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
宮崎県	140	1.7%	12.7	63	884	0.9%	80	50
宮崎東諸県	41	29%	9.6	56	401	45%	94	57
都城北諸県	28	20%	14.7	68	135	15%	71	45
延岡西臼杵	20	14%	13.7	66	90	10%	62	40
日南串間	12	9%	16.5	72	68	8%	93	57
西諸	16	11%	21.3	82	57	6%	76	48
西都児湯	10	7%	9.8	57	78	9%	77	48
日向入郷	13	9%	14.4	67	55	6%	61	40
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 45-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
宮崎県	884	0.9%	80	50	724	0.8%	66	45	160	2.2%	14.5	65
宮崎東諸県	401	45%	94	57	337	47%	79	52	64	40%	15.0	66
都城北諸県	135	15%	71	45	94	13%	49	37	41	26%	21.5	77
延岡西臼杵	90	10%	62	40	75	10%	51	38	15	9%	10.3	58
日南串間	68	8%	93	57	60	8%	82	54	8	5%	11.0	59
西諸	57	6%	76	48	47	6%	63	44	10	6%	13.3	63
西都児湯	78	9%	77	48	69	10%	68	47	9	6%	8.8	55
日向入郷	55	6%	61	40	42	6%	47	35	13	8%	14.4	65
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 45-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
宮崎県	19,107	1.2%	1,731	61	2,589	2.6%	234	67	21,696	1.3%	1,965	62
宮崎東諸県	6,502	34%	1,519	56	984	38%	230	66	7,486	35%	1,749	58
都城北諸県	3,661	19%	1,922	65	699	27%	367	81	4,360	20%	2,290	68
延岡西臼杵	2,734	14%	1,876	64	238	9%	163	59	2,972	14%	2,039	64
日南串間	1,885	10%	2,587	78	131	5%	180	61	2,016	9%	2,767	77
西諸	1,426	7%	1,900	64	166	6%	221	65	1,592	7%	2,121	65
西都児湯	1,180	6%	1,158	49	133	5%	131	56	1,313	6%	1,289	50
日向入郷	1,719	9%	1,911	64	238	9%	265	70	1,957	9%	2,175	66
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 45-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
宮崎県	9,383	1.1%	850	57	3,755	1.2%	340	54	5,867	1.8%	531	63
宮崎東諸県	3,777	40%	882	58	1,226	33%	286	52	1,421	24%	332	53
都城北諸県	1,845	20%	969	62	393	10%	206	48	1,419	24%	745	73
延岡西臼杵	1,171	12%	803	55	606	16%	416	58	953	16%	654	69
日南串間	794	8%	1,090	67	413	11%	567	65	674	11%	925	82
西諸	612	7%	815	55	379	10%	505	62	431	7%	574	65
西都児湯	694	7%	681	49	327	9%	321	53	155	3%	152	45
日向入郷	490	5%	545	43	411	11%	457	60	814	14%	905	81
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 45-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
宮崎県	858	1.1%	78	53	1,071	1.4%	97	56
宮崎東諸県	256	30%	60	49	344	32%	80	54
都城北諸県	170	20%	89	56	206	19%	108	58
延岡西臼杵	160	19%	110	60	92	9%	63	51
日南串間	41	5%	56	48	85	8%	117	59
西諸	97	11%	129	64	117	11%	156	66
西都児湯	50	6%	49	47	145	14%	142	63
日向入郷	84	10%	93	56	82	8%	91	55
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 45-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
宮崎県	4,213	3,950	78	14,820	5,415	3,630	42.2%	49	2.1%	49
宮崎東諸県	1,983	1,814	0	4,521	1,975	1,216	47.9%	51	0.0%	48
都城北諸県	307	307	0	3,316	1,500	393	17.0%	40	0.0%	48
延岡西臼杵	684	602	78	2,041	569	528	51.4%	53	12.9%	53
日南串間	542	538	0	1,343	256	413	67.8%	59	0.0%	48
西諸	253	249	0	1,144	363	350	40.7%	49	0.0%	48
西都児湯	355	351	0	825	351	319	50.0%	52	0.0%	48
日向入郷	89	89	0	1,630	401	411	18.2%	40	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 45-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
宮崎県	18,948	0.5%	1,716	45	9,924	1.1%	899	57
宮崎東諸県	11,040	58%	2,579	48	4,788	48%	1,118	65
都城北諸県	3,660	19%	1,922	45	2,232	22%	1,172	67
延岡西臼杵	1,944	10%	1,334	43	1,368	14%	939	58
日南串間	672	4%	922	41	648	7%	889	56
西諸	804	4%	1,071	42	0	0%	0	22
西都児湯	156	1%	153	38	228	2%	224	31
日向入郷	672	4%	747	41	660	7%	734	50
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

45.宮崎県(2018年版)

資\_図表 45-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
宮崎県	2,613	0.9%	237	50	1,719	0.8%	156	50	894	0.9%	81	50
宮崎東諸県	1,449	55%	338	61	1,002	58%	234	60	447	50%	104	60
都城北諸県	356	14%	187	44	222	13%	117	44	134	15%	70	46
延岡西臼杵	245	9%	168	42	153	9%	105	42	92	10%	63	42
日南串間	163	6%	224	48	108	6%	148	48	55	6%	75	48
西諸	124	5%	165	42	71	4%	95	41	53	6%	71	46
西都児湯	131	5%	129	38	65	4%	64	37	66	7%	65	43
日向入郷	145	6%	161	41	98	6%	109	43	47	5%	52	38
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 45-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
宮崎県	154	0.7%	13.9	46	93	0.7%	8.4	45	92	0.8%	8.3	49
宮崎東諸県	103	67%	24.1	57	50	54%	11.7	52	52	57%	12.1	58
都城北諸県	15	10%	7.9	39	9	10%	4.7	38	14	15%	7.4	46
延岡西臼杵	15	10%	10.3	42	9	10%	6.2	41	12	13%	8.2	48
日南串間	5	3%	6.9	38	8	9%	11.0	51	6	7%	8.2	48
西諸	5	3%	6.7	38	4	4%	5.3	39	2	2%	2.7	35
西都児湯	6	4%	5.9	37	8	9%	7.9	44	2	2%	2.0	33
日向入郷	5	3%	5.6	37	5	5%	5.6	39	4	4%	4.4	39
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 45-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
宮崎県	43	0.8%	3.9	48	81	0.8%	7.3	49	60	0.8%	5.4	48
宮崎東諸県	27	63%	6.3	59	44	54%	10.3	58	38	63%	8.9	61
都城北諸県	3	7%	1.6	37	16	20%	8.4	52	6	10%	3.2	39
延岡西臼杵	5	12%	3.4	45	5	6%	3.4	37	8	13%	5.5	48
日南串間	3	7%	4.1	49	4	5%	5.5	43	3	5%	4.1	43
西諸	2	5%	2.7	42	5	6%	6.7	47	2	3%	2.7	37
西都児湯	0	0%	0	30	2	2%	2.0	32	2	3%	2.0	35
日向入郷	3	7%	3.3	45	5	6%	5.6	43	1	2%	1.1	31
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 45-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
宮崎県	73	0.8%	6.6	48	196	0.9%	17.8	52	184	1.1%	16.7	58
宮崎東諸県	35	48%	8.2	53	116	59%	27.1	65	94	51%	22.0	69
都城北諸県	7	10%	3.7	40	28	14%	14.7	47	22	12%	11.6	47
延岡西臼杵	8	11%	5.5	45	19	10%	13.0	45	20	11%	13.7	52
日南串間	7	10%	9.6	57	11	6%	15.1	48	9	5%	12.4	49
西諸	5	7%	6.7	48	5	3%	6.7	36	17	9%	22.6	71
西都児湯	1	1%	1.0	32	7	4%	6.9	36	12	7%	11.8	47
日向入郷	10	14%	11.1	61	10	5%	11.1	42	10	5%	11.1	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 45-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
宮崎県	61	1.0%	5.5	54	58	0.9%	5.3	50	72	1.3%	6.5	57
宮崎東諸県	30	49%	7.0	61	30	52%	7.0	57	54	75%	12.6	77
都城北諸県	11	18%	5.8	55	13	22%	6.8	56	6	8%	3.2	46
延岡西臼杵	7	11%	4.8	50	3	5%	2.1	36	3	4%	2.1	42
日南串間	2	3%	2.7	41	3	5%	4.1	45	1	1%	1.4	40
西諸	4	7%	5.3	53	3	5%	4.0	44	1	1%	1.3	40
西都児湯	3	5%	2.9	42	2	3%	2.0	36	4	6%	3.9	48
日向入郷	4	7%	4.4	49	4	7%	4.4	46	3	4%	3.3	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 45-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
宮崎県	79	1.1%	7.2	55	14	0.9%	1.3	50	25	0.7%	2.3	46
宮崎東諸県	51	65%	11.9	69	11	79%	2.6	63	14	56%	3.3	51
都城北諸県	12	15%	6.3	52	1	7%	0.5	43	3	12%	1.6	43
延岡西臼杵	3	4%	2.1	39	1	7%	0.7	44	3	12%	2.1	45
日南串間	3	4%	4.1	46	1	7%	1.4	51	1	4%	1.4	42
西諸	3	4%	4.0	45	0	0%	0	37	2	8%	2.7	48
西都児湯	2	3%	2.0	39	0	0%	0	37	2	8%	2.0	45
日向入郷	5	6%	5.6	50	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

45.宮崎県(2018年版)

資\_図表 45-18 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
宮崎県	13	0.6%	1.2	46	34	1.4%	3.1	58
宮崎東諸県	8	62%	1.9	51	14	41%	3.3	59
都城北諸県	2	15%	1.1	45	6	18%	3.2	58
延岡西臼杵	0	0%	0	37	3	9%	2.1	51
日南串間	1	8%	1.4	48	3	9%	4.1	65
西諸	0	0%	0	37	4	12%	5.3	74
西都児湯	2	15%	2.0	52	2	6%	2.0	50
日向入郷	0	0%	0	37	2	6%	2.2	52
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 45-19 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
宮崎県	15,191	1.3%	1,376	67	11,347	1.2%	1,028	63	3,844	1.7%	348	74
宮崎東諸県	6,096	40%	1,424	68	4,485	40%	1,048	63	1,612	42%	376	78
都城北諸県	2,982	20%	1,566	73	2,223	20%	1,167	68	758	20%	398	81
延岡西臼杵	1,904	13%	1,306	64	1,409	12%	967	60	495	13%	340	73
日南串間	1,094	7%	1,501	71	884	8%	1,213	70	210	5%	288	66
西諸	1,053	7%	1,403	67	805	7%	1,073	64	248	6%	331	71
西都児湯	897	6%	880	49	610	5%	599	45	287	7%	282	65
日向入郷	1,165	8%	1,295	64	931	8%	1,035	63	234	6%	260	62
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 45-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
宮崎県	1,446	1.0%	131	54	2,037	0.7%	184	45
宮崎東諸県	552	38%	129	53	970	48%	227	49
都城北諸県	249	17%	131	54	303	15%	159	42
延岡西臼杵	174	12%	120	52	271	13%	186	45
日南串間	114	8%	156	58	119	6%	163	42
西諸	132	9%	176	62	125	6%	167	43
西都児湯	104	7%	102	49	106	5%	104	36
日向入郷	122	8%	135	55	143	7%	159	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 45-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
宮崎県	117	0.8%	0.7	46	20	1.4%	0.1	55	134	1.2%	0.8	55
宮崎東諸県	67	57%	1.2	58	7	35%	0.1	56	51	38%	0.9	62
都城北諸県	15	13%	0.5	42	2	10%	0.1	48	27	20%	0.9	62
延岡西臼杵	11	9%	0.4	40	2	10%	0.1	49	16	12%	0.6	48
日南串間	6	5%	0.4	39	3	15%	0.2	67	5	4%	0.3	34
西諸	9	8%	0.6	44	3	15%	0.2	66	12	9%	0.8	55
西都児湯	9	8%	0.5	42	1	5%	0.1	46	9	7%	0.5	44
日向入郷	0	0%	0	30	2	10%	0.1	57	14	10%	0.9	62
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 45-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
宮崎県	15,434	0.9%	90	42	10,228	1.0%	60	49	5,206	0.8%	30	42
宮崎東諸県	4,745	31%	87	40	3,006	29%	55	45	1,739	33%	32	43
都城北諸県	2,704	18%	93	44	1,612	16%	56	45	1,092	21%	38	47
延岡西臼杵	2,246	15%	87	40	1,577	15%	61	50	669	13%	26	39
日南串間	1,378	9%	92	43	1,074	11%	72	59	304	6%	20	36
西諸	1,555	10%	102	49	1,060	10%	70	57	495	10%	33	44
西都児湯	1,477	10%	88	40	1,033	10%	61	50	444	9%	26	40
日向入郷	1,329	9%	90	42	866	8%	58	48	463	9%	31	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 45-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
宮崎県	3,322	0.9%	19	45	5,840	1.0%	34	49	1,066	1.8%	6.2	57
宮崎東諸県	1,126	34%	21	47	1,574	27%	29	44	306	29%	5.6	55
都城北諸県	463	14%	16	39	1,110	19%	38	53	39	4%	1.3	44
延岡西臼杵	533	16%	21	47	845	14%	33	48	199	19%	7.7	60
日南串間	347	10%	23	51	543	9%	36	51	184	17%	12.3	72
西諸	330	10%	22	49	550	9%	36	51	180	17%	11.8	71
西都児湯	307	9%	18	43	660	11%	39	54	66	6%	3.9	51
日向入郷	216	7%	15	37	558	10%	38	52	92	9%	6.2	56
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
宮崎県	1,483	0.6%	8.7	45	258	1.1%	1.5	50	2,418	1.2%	14.2	53
宮崎東諸県	563	38%	10.4	46	138	53%	2.5	55	744	31%	13.7	52
都城北諸県	168	11%	5.8	42	60	23%	2.1	53	438	18%	15.1	55
延岡西臼杵	232	16%	9.0	45	0	0%	0	43	269	11%	10.5	47
日南串間	122	8%	8.2	44	0	0%	0	43	106	4%	7.1	41
西諸	86	6%	5.6	42	30	12%	2.0	53	360	15%	23.6	70
西都児湯	123	8%	7.3	43	0	0%	0	43	270	11%	16.0	56
日向入郷	189	13%	12.8	48	30	12%	2.0	53	231	10%	15.6	56
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
宮崎県	1,047	0.5%	6.1	38	0	0.0%	0	43	1,047	0.5%	6.1	40	
宮崎東諸県	294	28%	5.4	37	0		0	43	294	28%	5.4	39	
都城北諸県	426	41%	14.7	51	0		0	43	426	41%	14.7	53	
延岡西臼杵	168	16%	6.5	39	0		0	43	168	16%	6.5	41	
日南串間	76	7%	5.1	37	0		0	43	76	7%	5.1	39	
西諸	19	2%	1.2	31	0		0	43	19	2%	1.2	33	
西都児湯	51	5%	3.0	34	0		0	43	51	5%	3.0	35	
日向入郷	13	1%	0.9	31	0		0	43	13	1%	0.9	32	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 45-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
宮崎県	1,839	1.1%	10.8	51	1,361	1.1%	8.0	53	478	0.9%	2.8	47
宮崎東諸県	622	34%	11.5	54	411	30%	7.6	51	211	44%	3.9	57
都城北諸県	282	15%	9.7	46	188	14%	6.5	46	94	20%	3.2	51
延岡西臼杵	254	14%	9.9	47	201	15%	7.8	52	53	11%	2.1	40
日南串間	161	9%	10.8	51	143	11%	9.6	61	18	4%	1.2	32
西諸	188	10%	12.3	58	154	11%	10.1	64	34	7%	2.2	41
西都児湯	150	8%	8.9	43	133	10%	7.9	53	17	4%	1.0	30
日向入郷	181	10%	12.2	57	130	10%	8.8	57	51	11%	3.4	53
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 45-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
宮崎県	15,981	1.1%	94	51	13,462	1.0%	79	50	2,519	1.1%	14.7	52
宮崎東諸県	5,507	34%	101	57	4,346	32%	80	51	1,160	46%	21.4	64
都城北諸県	2,819	18%	97	54	2,432	18%	84	54	388	15%	13.4	50
延岡西臼杵	2,076	13%	81	41	1,759	13%	68	41	317	13%	12.3	48
日南串間	1,229	8%	82	42	1,030	8%	69	41	199	8%	13.4	50
西諸	1,452	9%	95	52	1,317	10%	86	57	136	5%	8.9	42
西都児湯	1,442	9%	86	44	1,281	10%	76	47	161	6%	9.6	43
日向入郷	1,456	9%	98	55	1,298	10%	88	58	158	6%	10.7	45
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
宮崎県	9,857	0.8%	58	45	2,430	0.5%	14	37	11,839	1.0%	69	48
宮崎東諸県	5,613	57%	103	58	1,026	42%	19	41	5,913	50%	109	63
都城北諸県	1,102	11%	38	39	389	16%	13	36	2,003	17%	69	48
延岡西臼杵	1,473	15%	57	45	338	14%	13	36	1,510	13%	59	44
日南串間	197	2%	13	32	83	3%	6	30	668	6%	45	39
西諸	913	9%	60	46	270	11%	18	40	616	5%	40	37
西都児湯	389	4%	23	35	70	3%	4	29	471	4%	28	32
日向入郷	170	2%	11	32	254	10%	17	39	658	6%	44	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
宮崎県		1,153,042	1,104,069	-4%	1,023,170	-11%	7%	2%	10%
宮崎東諸県	地方都市型	424,763	428,089	1%	418,724	-1%	14%	10%	25%
都城北諸県	地方都市型	195,500	190,433	-3%	178,295	-9%	6%	1%	7%
延岡西臼杵	過疎地域型	159,803	145,747	-9%	127,914	-20%	3%	-4%	-1%
日南串間	過疎地域型	83,032	72,869	-12%	61,857	-26%	-2%	-6%	-8%
西諸	過疎地域型	83,522	75,059	-10%	65,109	-22%	0%	-4%	-4%
西都児湯	過疎地域型	111,189	101,901	-8%	89,951	-19%	4%	-1%	3%
日向入郷	過疎地域型	95,233	89,971	-6%	81,320	-15%	7%	0%	7%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

45.宮崎県(2018年版)

資\_図表 45-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
宮崎県	149	12.9	65	140	12.7	63	-9	-6%
宮崎東諸県	41	9.7	57	41	9.6	56	0	0%
都城北諸県	30	15.3	71	28	14.7	68	-2	-7%
延岡西臼杵	21	13.1	66	20	13.7	66	-1	-5%
日南串間	12	14.5	69	12	16.5	72	0	0%
西諸	18	21.6	88	16	21.3	82	-2	-11%
西都児湯	12	10.8	60	10	9.8	57	-2	-17%
日向入郷	15	15.8	72	13	14.4	67	-2	-13%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 45-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
宮崎県	896	78	51	884	80	50	-12	-1%
宮崎東諸県	387	91	58	401	94	57	14	4%
都城北諸県	146	75	49	135	71	45	-11	-8%
延岡西臼杵	102	64	44	90	62	40	-12	-12%
日南串間	66	79	52	68	93	57	2	3%
西諸	61	73	49	57	76	48	-4	-7%
西都児湯	78	70	47	78	77	48	0	0%
日向入郷	56	59	41	55	61	40	-1	-2%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 45-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
宮崎県	2,538	220	51	2,613	237	50	75	3%
宮崎東諸県	1,303	307	61	1,449	338	61	146	11%
都城北諸県	357	183	47	356	187	44	-1	0%
延岡西臼杵	294	184	47	245	168	42	-49	-17%
日南串間	166	200	49	163	224	48	-3	-2%
西諸	141	169	45	124	165	42	-17	-12%
西都児湯	134	121	39	131	129	38	-3	-2%
日向入郷	143	150	43	145	161	41	2	1%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 45-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
宮崎県	24,356	211	62	21,696	197	62	-2,660	-11%
宮崎東諸県	8,346	196	60	7,486	175	58	-860	-10%
都城北諸県	4,793	245	68	4,360	229	68	-433	-9%
延岡西臼杵	3,297	206	62	2,972	204	64	-325	-10%
日南串間	2,077	250	69	2,016	277	77	-61	-3%
西諸	1,709	205	61	1,592	212	65	-117	-7%
西都児湯	2,056	185	58	1,313	129	50	-743	-36%
日向入郷	2,078	218	64	1,957	218	66	-121	-6%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 45-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
宮崎県	12,854	111	60	11,711	106	61	-1,143	-9%
宮崎東諸県	5,018	118	62	4,656	109	62	-362	-7%
都城北諸県	2,495	128	66	2,510	132	71	15	1%
延岡西臼杵	1,639	103	57	1,402	96	57	-237	-14%
日南串間	975	117	62	897	123	68	-78	-8%
西諸	752	90	52	736	98	58	-16	-2%
西都児湯	985	89	52	782	77	50	-203	-21%
日向入郷	990	104	57	728	81	51	-262	-26%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 45-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

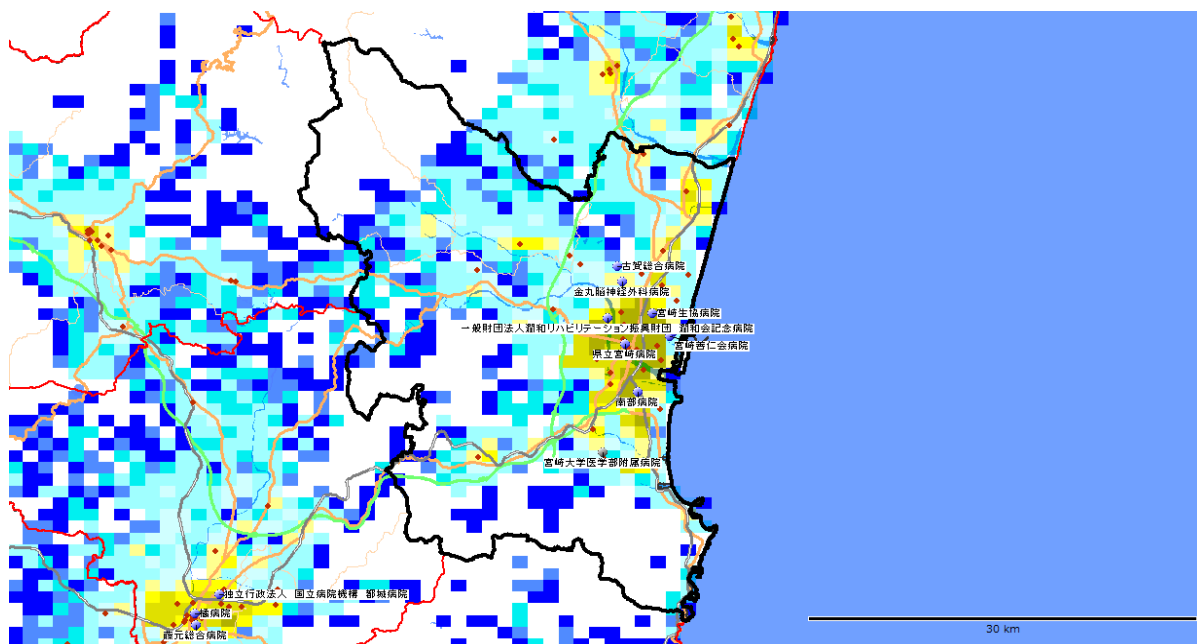
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
宮崎県	5,134	39	54	4,016	24	53	-1,118	-22%
宮崎東諸県	1,852	49	60	1,331	25	54	-521	-28%
都城北諸県	852	37	53	427	15	45	-425	-50%
延岡西臼杵	701	35	51	613	24	53	-88	-13%
日南串間	419	34	51	441	30	58	22	5%
西諸	522	42	55	421	28	56	-101	-19%
西都児湯	518	38	53	372	22	51	-146	-28%
日向入郷	270	24	45	411	28	56	141	52%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 45-1. みやざきひがしむろかた 宮崎東諸県医療圏

構成市区町村 [宮崎市](#) [国富町](#) [綾町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (宮崎東諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 宮崎東諸県(宮崎市)は、総人口約428千人(2015年)、面積869km<sup>2</sup>、人口密度は492人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 宮崎東諸県の総人口は2025年に419千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に386千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の54千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には87千人へと増加する(2025年比+16%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 宮崎東諸県の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値50)、介護給付費は262千円(偏差値53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 宮崎東諸県の一人当たり急性期医療密度指数は1.31、一人当たり慢性期医療密度指数は1.46で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が61(病院医師数60、診療所医師数60)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。宮崎東諸県には、年間全身麻酔件数が2000例以上の宮崎県立宮崎病院(Ⅲ群・救命)、宮崎大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の宮崎善仁会病院(Ⅲ群)、古賀総合病院(Ⅲ群)、500例以上の宮崎市郡医師会病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 宮崎東諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,745人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,006床(偏差値45)、高齢者住宅等が1,739床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,346人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。  
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム46、軽費ホーム55、グループホーム52、サ高住37である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,160人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-36%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宮崎東諸県医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宮崎東諸県医療圏の総人口は、2005年424,763人が、2015年に428,089人と1%増加し、2025年の人口が418,724人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

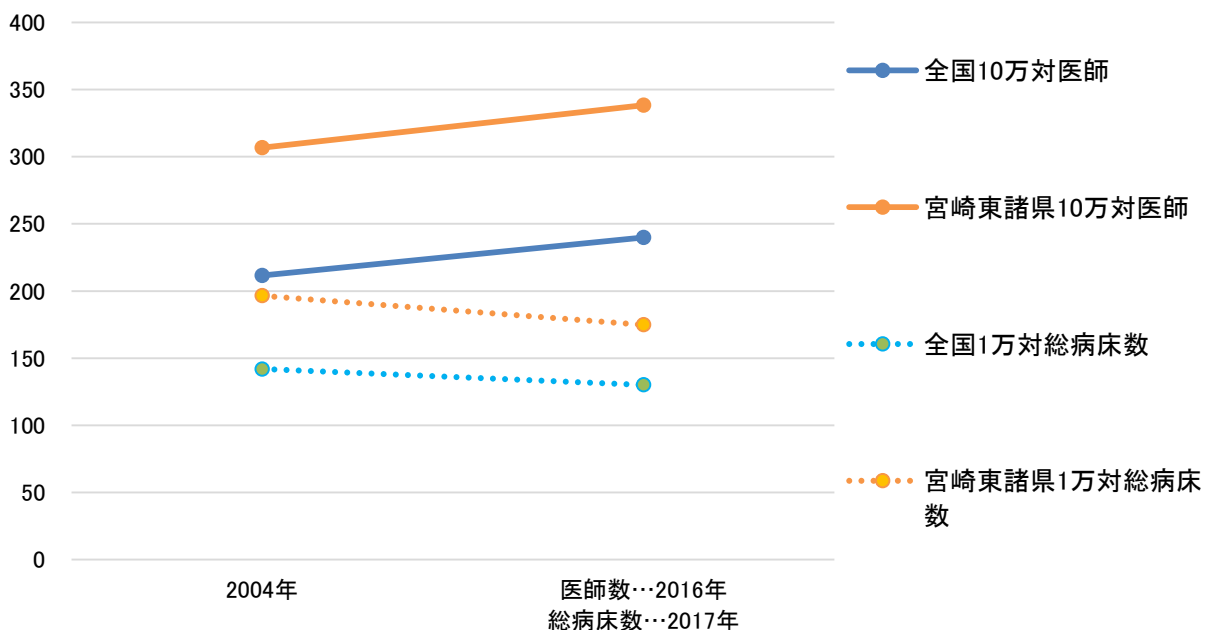
2004年の病院数が41(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2017年に41(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が387(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2017年に401(人口10万人当たり94診療所(全国平均80)偏差値57)と、14診療所が増加した。

2004年の総病床数が8,346床(人口1万人当たり196(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に7,486床(人口1万人当たり175(全国平均130)偏差値58)と、860床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

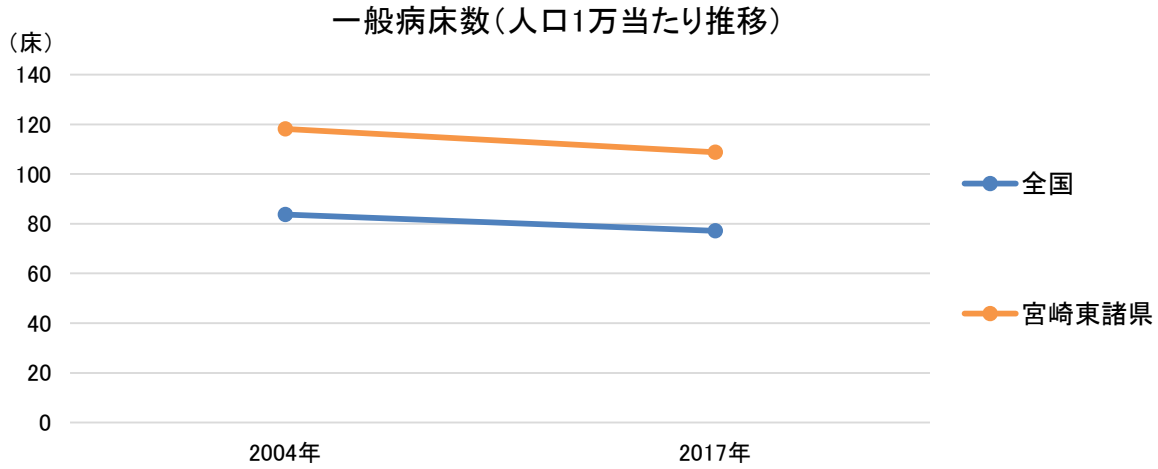
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,303人(人口10万人当たり307人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2016年に1,449人(人口10万人当たり338人(全国平均240人)偏差値61)と、146人の増加、率にして11%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



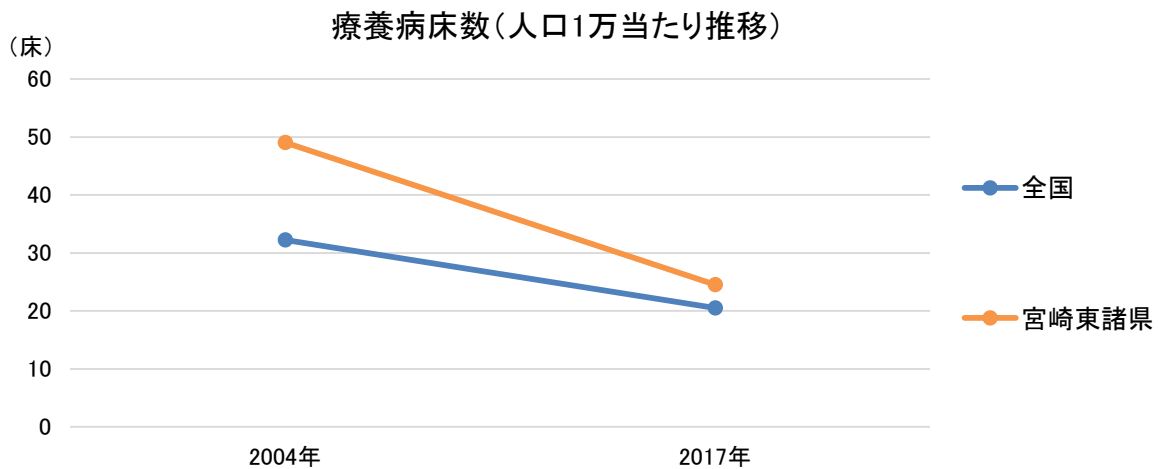
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,018床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2017年に4,656床(人口1万人当たり109(全国平均77)偏差値62)と、362床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



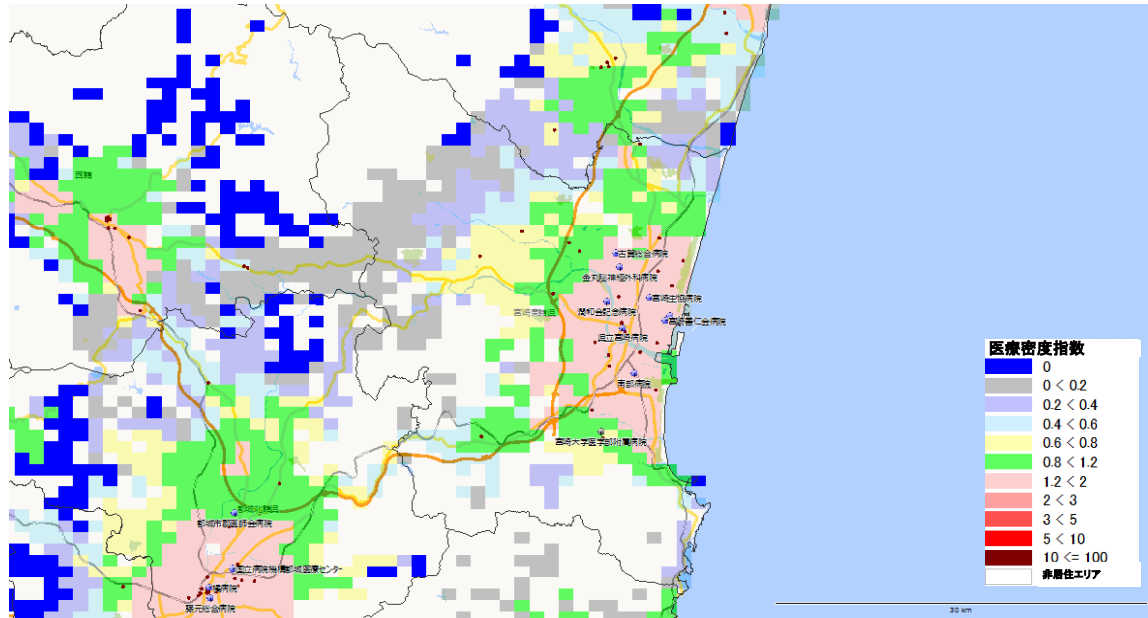
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,852床(75歳以上1,000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2017年に1,331床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、521床の減少、率にして28%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



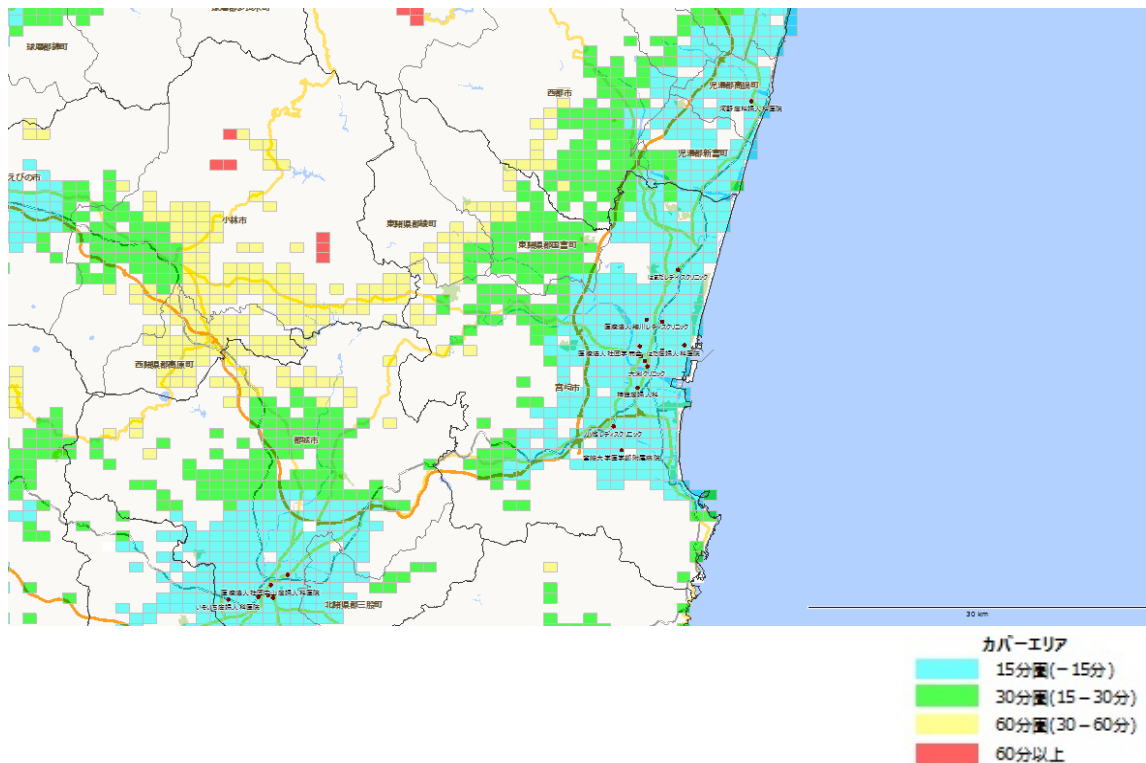
(宮崎東諸県医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



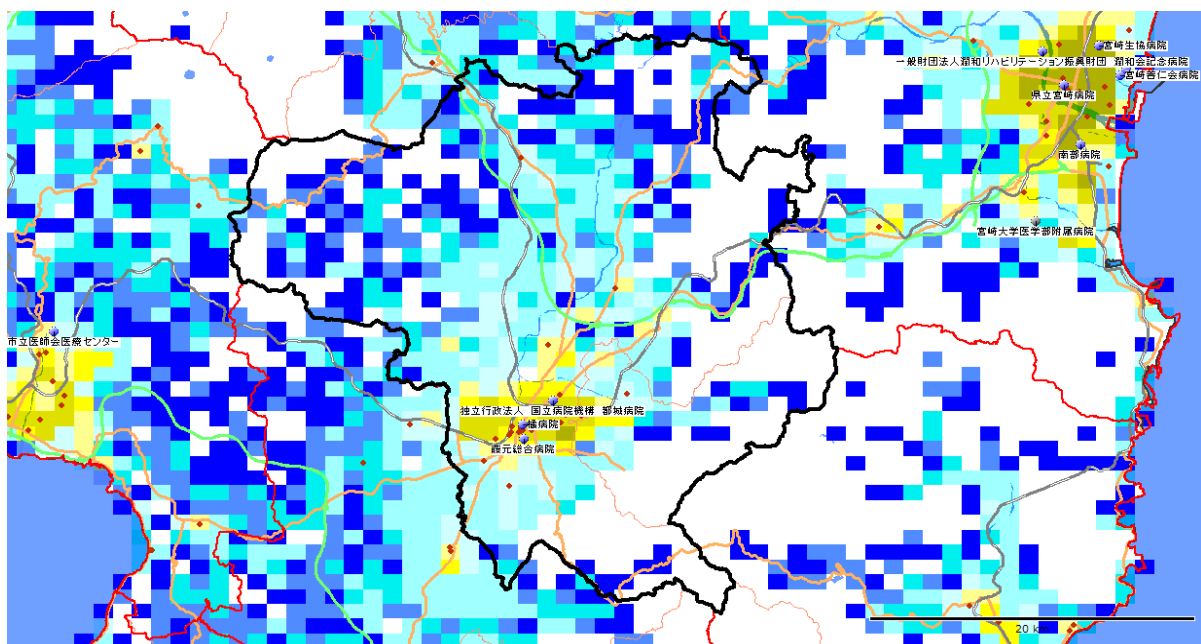


# 45-2. みやこのじょうきたもろかた 都城北諸県医療圏

構成市区町村 [都城市](#) [三股町](#)

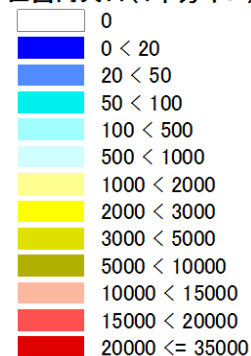
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (都城北諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 都城北諸県(都城市)は、総人口約190千人(2015年)、面積763km<sup>2</sup>、人口密度は249人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 都城北諸県の総人口は2025年に178千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に156千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の29千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 都城北諸県の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値59)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 都城北諸県の一人当たり急性期医療密度指数は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数は1.79で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。都城北諸県には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNH0都城医療センター(Ⅲ群)、500例以上の都城市郡医師会病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は73で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 都城北諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,704人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,612床(偏差値45)、高齢者住宅等が1,092床(偏差値47)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,432人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム42、軽費ホーム53、グループホーム55、サ高住51である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、388人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (都城北諸県医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

都城北諸県医療圏の総人口は、2005年195,500人が、2015年に190,433人と3%減少し、2025年の人口が178,295人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

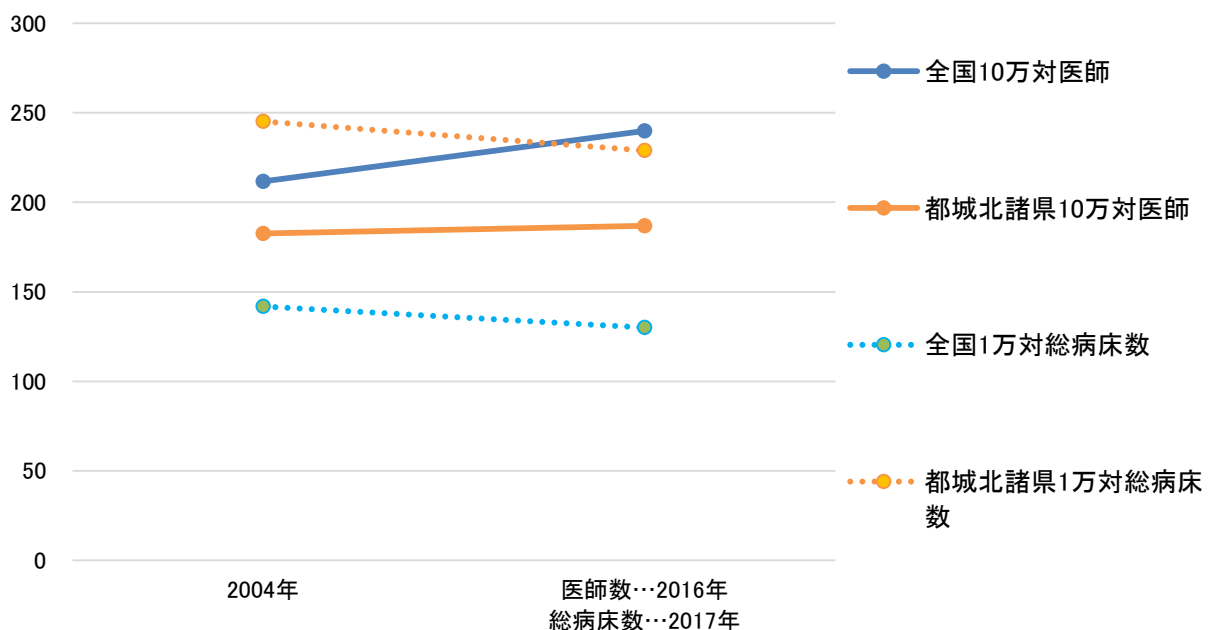
2004年の病院数が30(人口10万人当たり15.3病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2017年に28(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.6)偏差値68)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が146(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2017年に135(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,793床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値68)であったが、2017年に4,360床(人口1万人当たり229(全国平均130)偏差値68)と、433床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

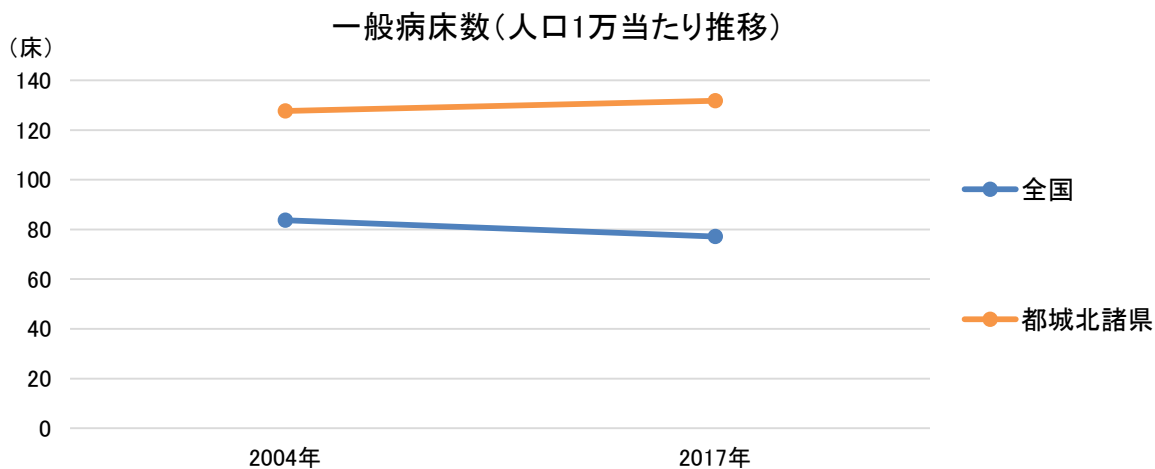
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が357人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に356人(人口10万人当たり187人(全国平均240人)偏差値44)と、1人の減少、率にして1%未満の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



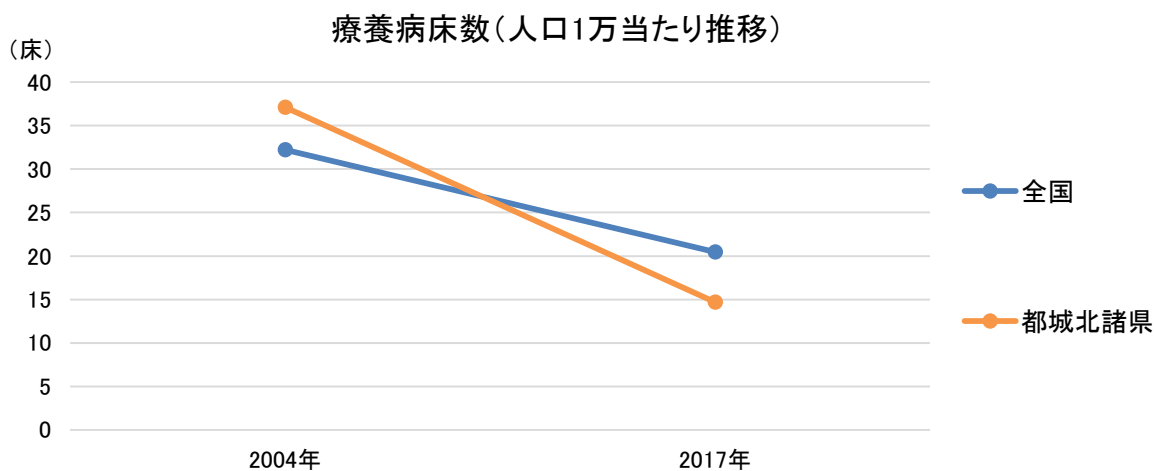
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,495床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2017年に2,510床(人口1万人当たり132(全国平均77)偏差値71)と、15床の増加、率にして1%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



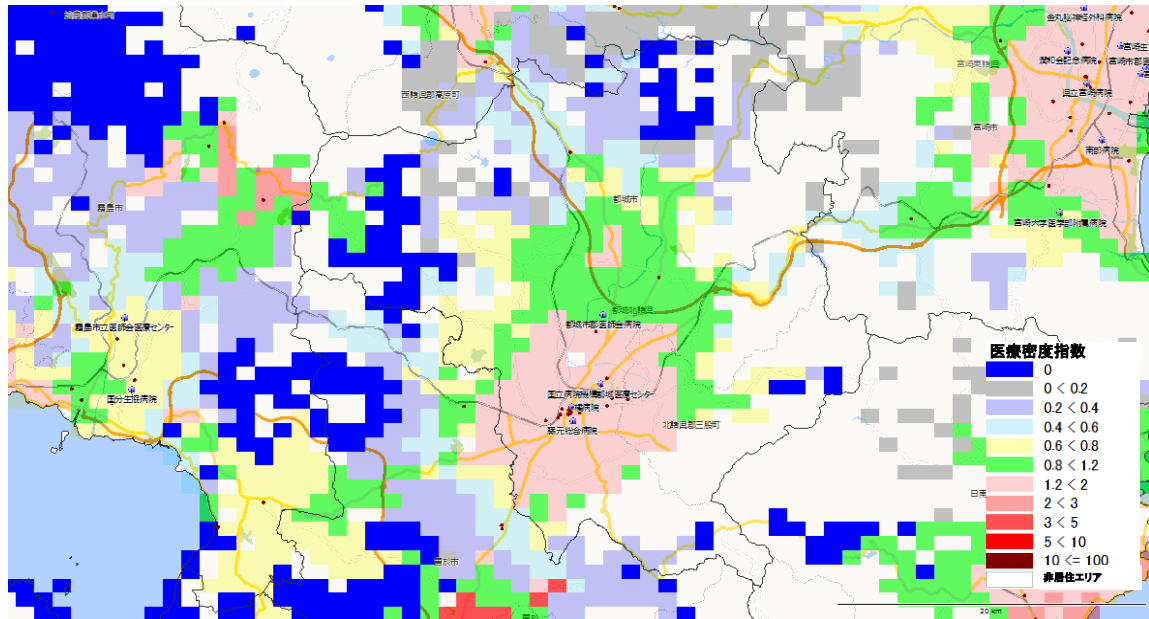
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が852床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2017年に427床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、425床の減少、率にして50%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



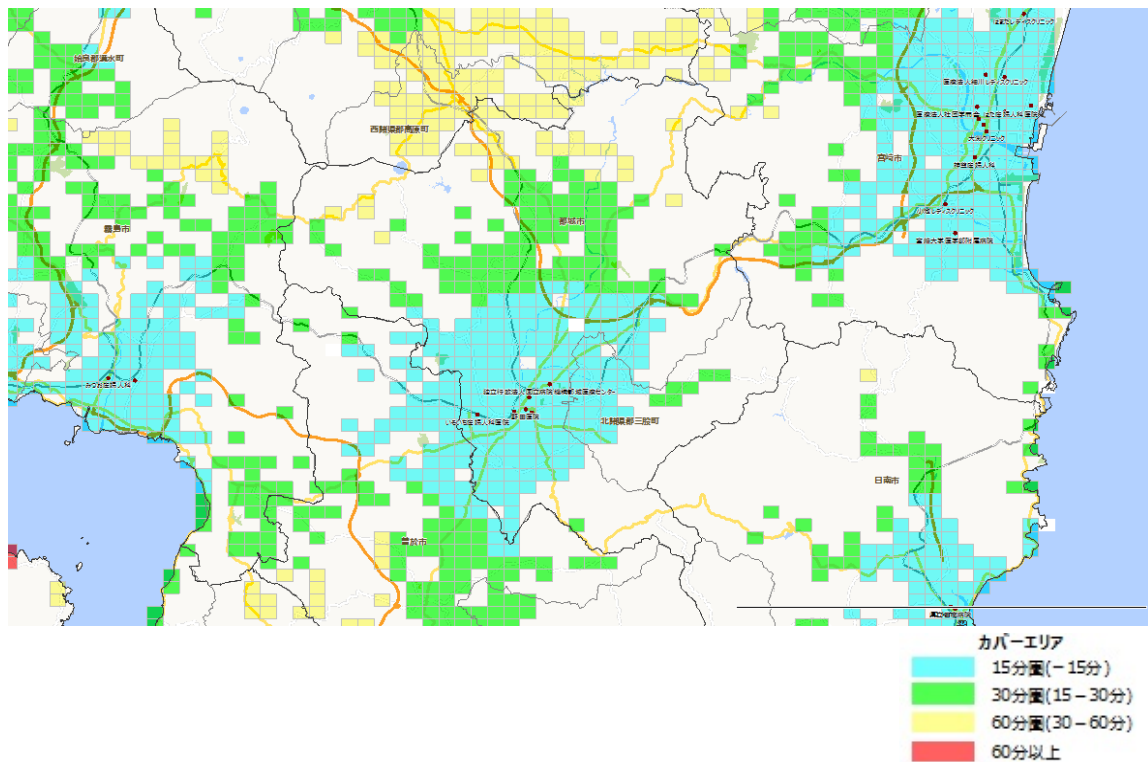
## (都城北諸県医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

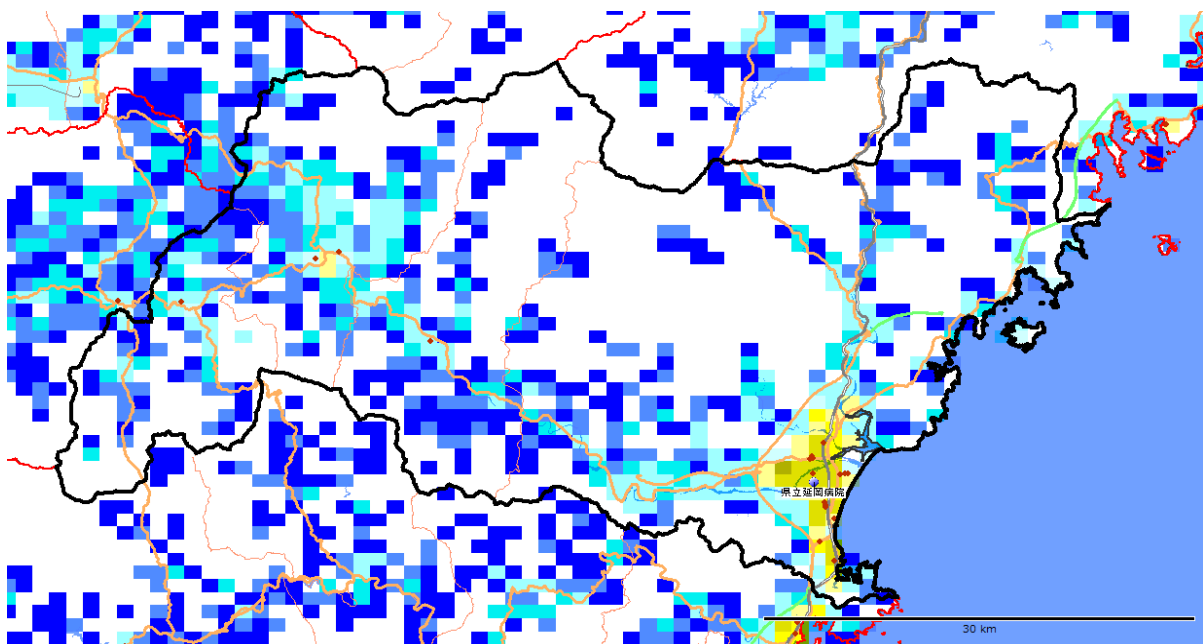


# 45-3. のべおかにしうすき 延岡西臼杵医療圏

構成市区町村 [延岡市](#) [高千穂町](#) [日之影町](#) [五ヶ瀬町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (延岡西臼杵医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 延岡西臼杵(延岡市)は、総人口約146千人(2015年)、面積1,555km<sup>2</sup>、人口密度は94人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 延岡西臼杵の総人口は2025年に128千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に101千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には27千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 延岡西臼杵の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値52)、介護給付費は278千円(偏差値58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 延岡西臼杵の一人当たり急性期医療密度指数は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は64と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。延岡西臼杵には、年間全身麻酔件数が1000例以上の宮崎県立延岡病院(Ⅲ群・救命)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値60と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 延岡西臼杵の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,246人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,577床(偏差値50)、高齢者住宅等が669床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,759人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住39である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、317人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (延岡西臼杵医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

延岡西臼杵医療圏の総人口は、2005年159,803人が、2015年に145,747人と9%減少し、2025年の人口が127,914人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

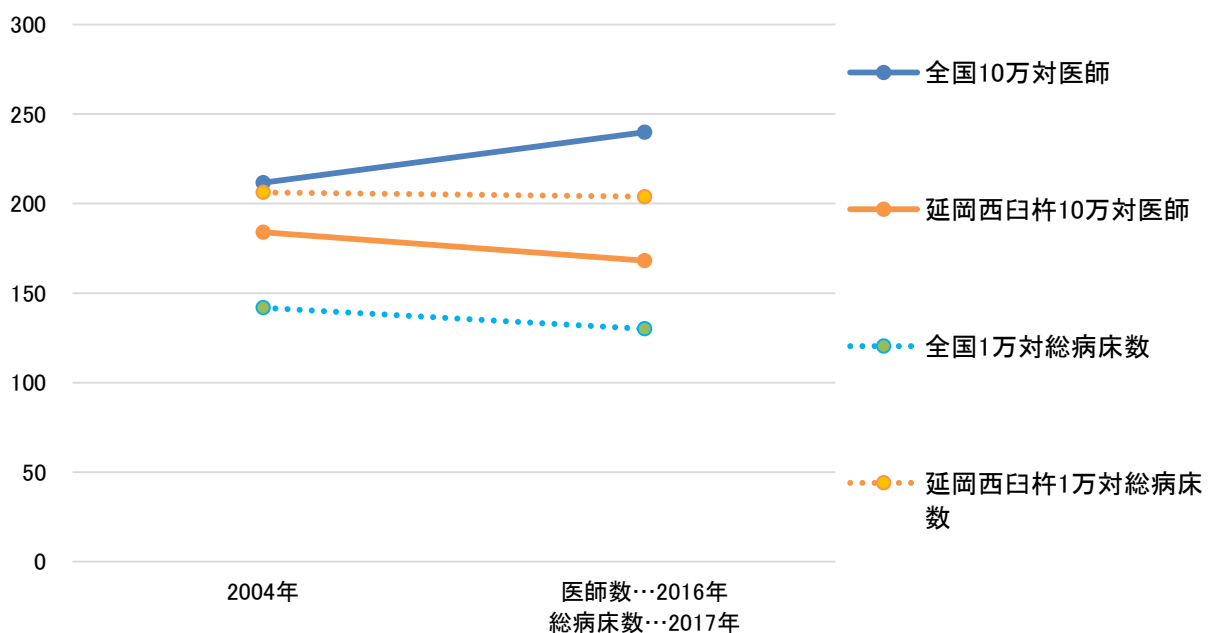
2004年の病院数が21(人口10万人当たり13.1病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2017年に20(人口10万人当たり13.7病院(全国平均6.6)偏差値66)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が102(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2017年に90(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値40)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,297床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値62)であったが、2017年に2,972床(人口1万人当たり204(全国平均130)偏差値64)と、325床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が294人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に245人(人口10万人当たり168人(全国平均240人)偏差値42)と、49人の減少、率にして17%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

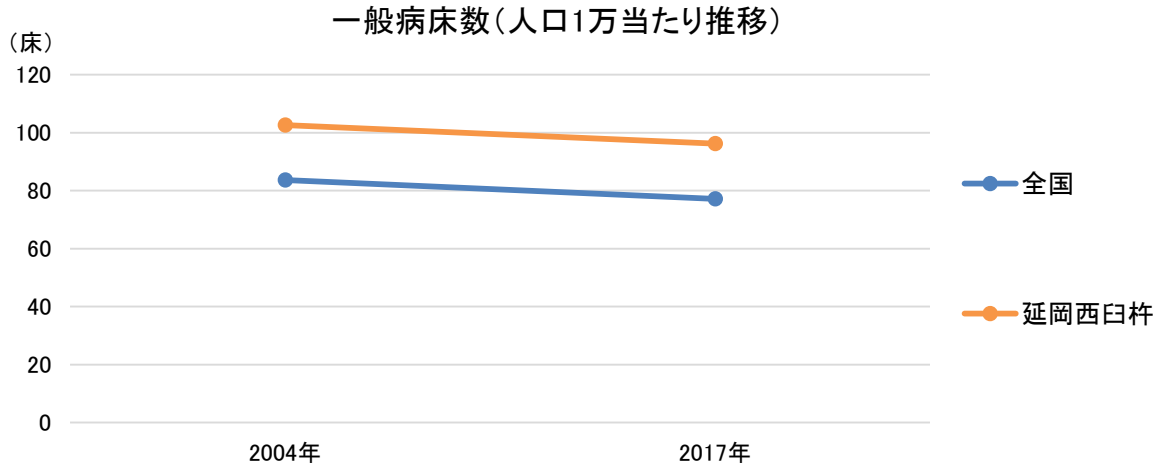
人口当たり医師数・総病床数の推移





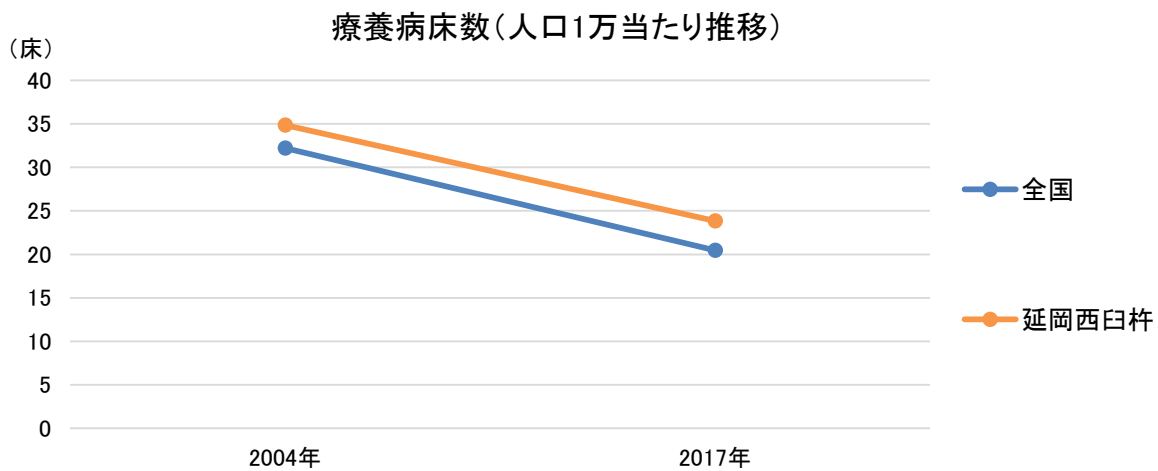
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,639床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に1,402床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値57)と、237床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



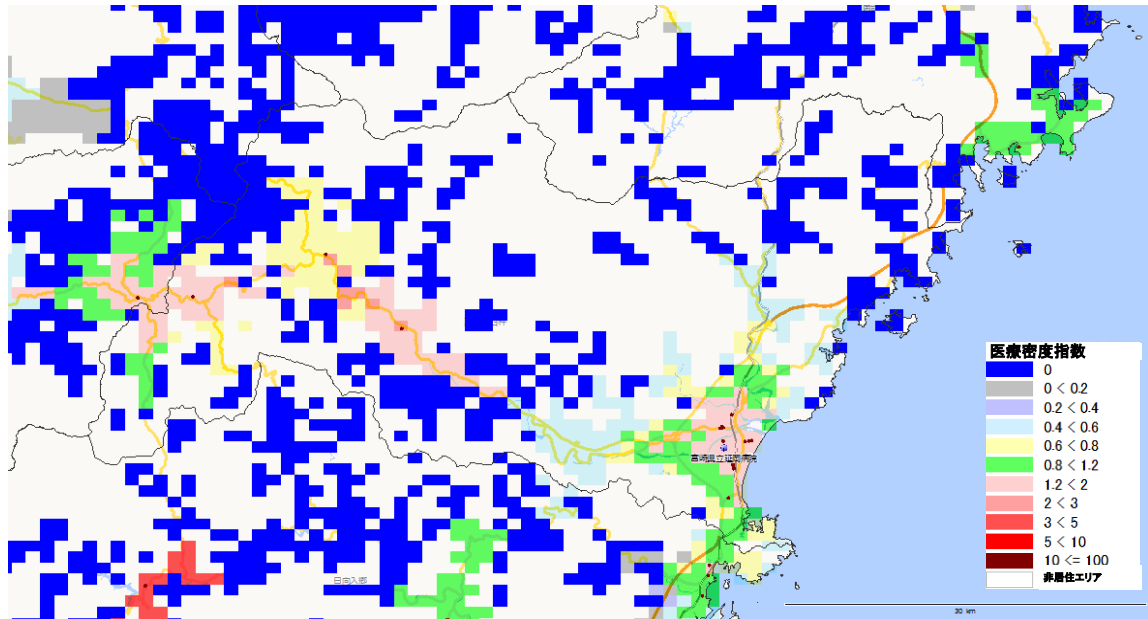
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が701床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2017年に613床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均20)偏差値53)と、88床の減少、率にして13%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



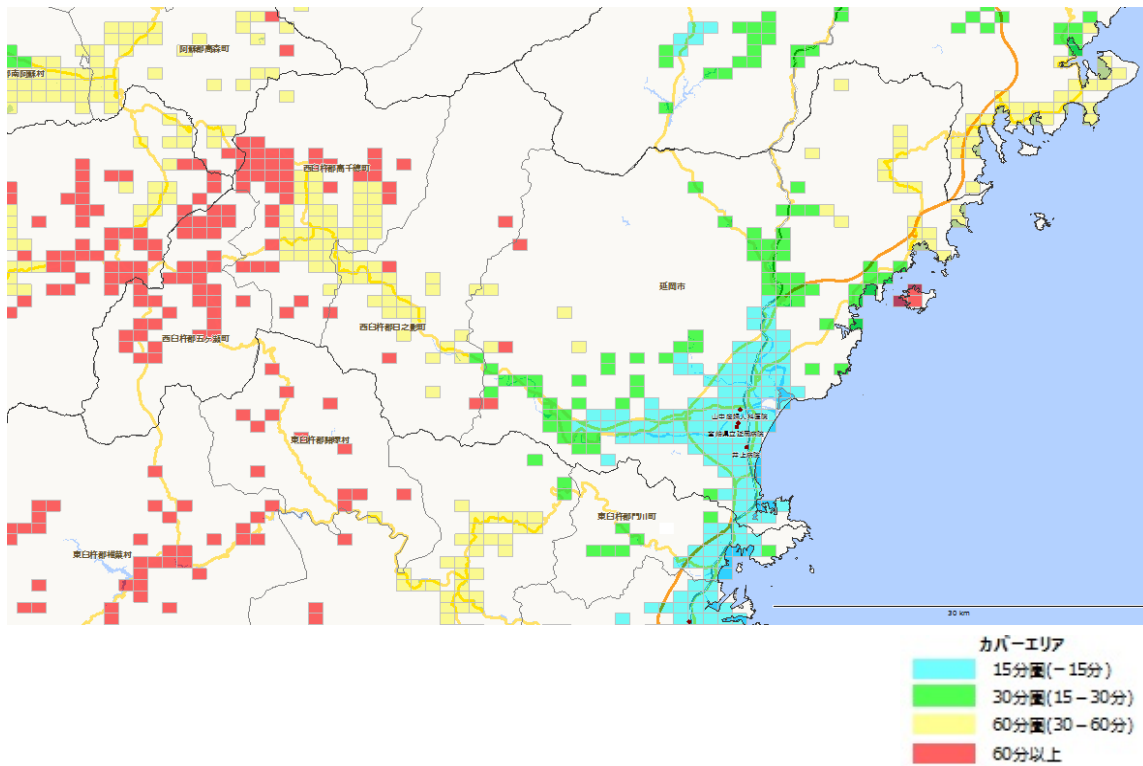
(延岡西臼杵医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

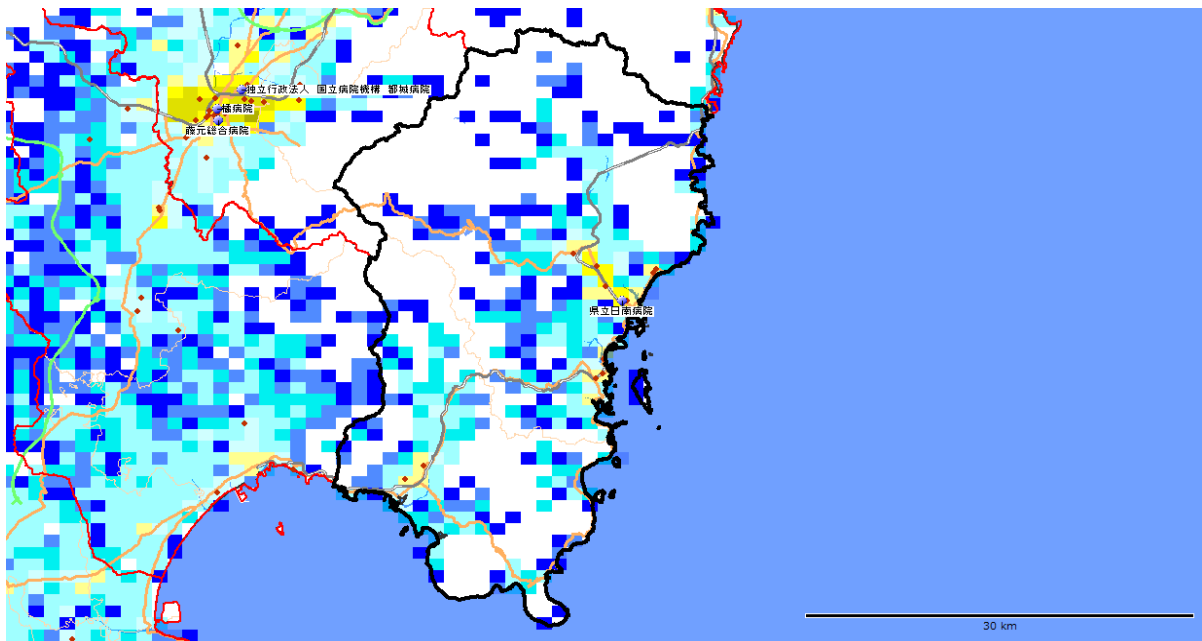


# 45-4. にちなんくしま 日南串間医療圏

構成市区町村 [日南市](#) [串間市](#)

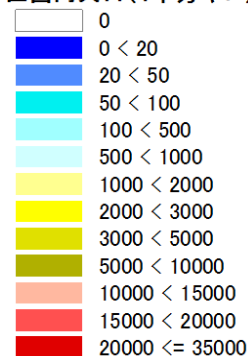
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (日南串間医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 日南串間(日南市)は、総人口約73千人(2015年)、面積831km<sup>2</sup>、人口密度は88人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 日南串間の総人口は2025年に62千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に46千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 日南串間の一人当たり医療費(国保)は423千円(偏差値68)、介護給付費は280千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 日南串間の一人当たり急性期医療密度指数は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数は1.58で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は67で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。日南串間には、年間全身麻酔件数が500例以上の宮崎県立日南病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は82で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 日南串間の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,378人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,074床(偏差値59)、高齢者住宅等が304床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,030人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、199人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (日南串間医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

日南串間医療圏の総人口は、2005年83,032人が、2015年に72,869人と12%減少し、2025年の人口が61,857人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

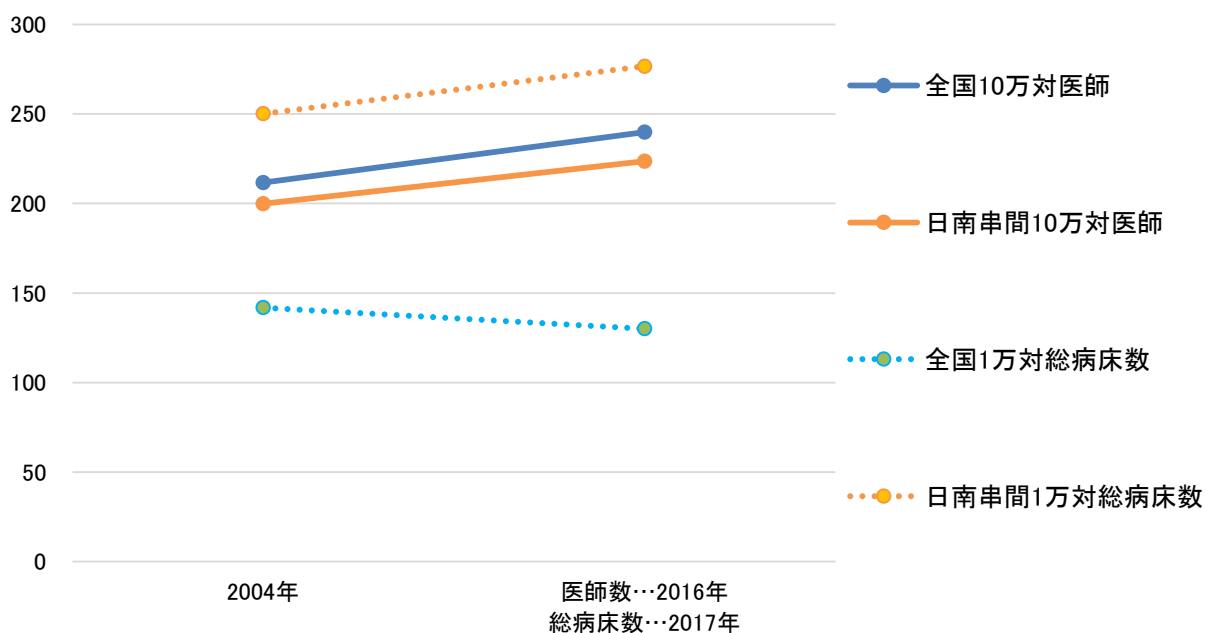
2004年の病院数が12(人口10万人当たり14.5病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2017年に12(人口10万人当たり16.5病院(全国平均6.6)偏差値72)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2017年に68(人口10万人当たり93診療所(全国平均80)偏差値57)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,077床(人口1万人当たり250(全国平均142)偏差値69)であったが、2017年に2,016床(人口1万人当たり277(全国平均130)偏差値77)と、61床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

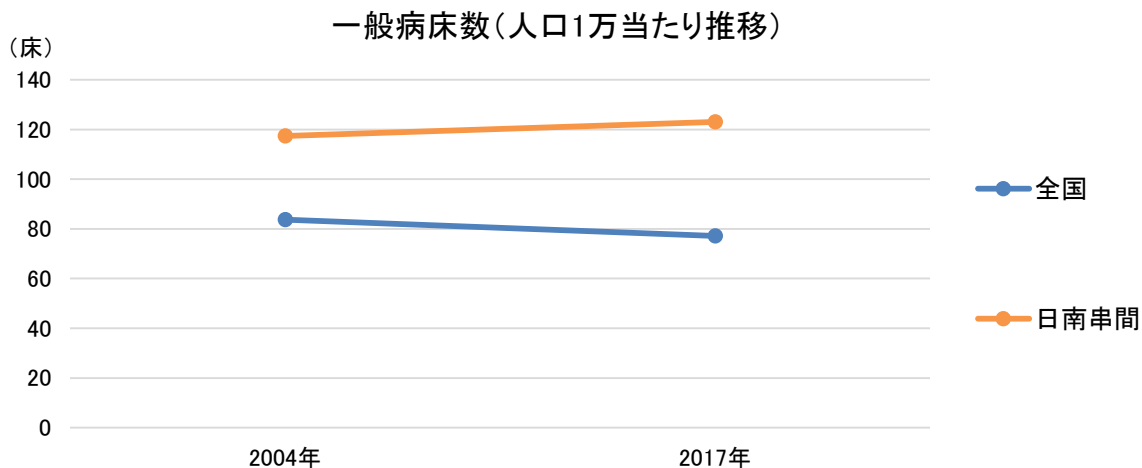
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が166人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に163人(人口10万人当たり224人(全国平均240人)偏差値48)と、3人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



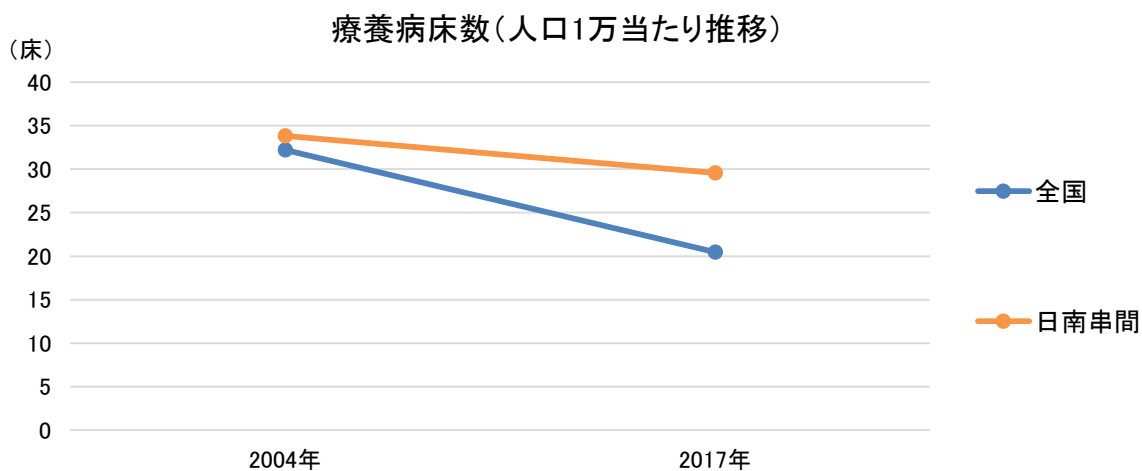
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が975床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2017年に897床(人口1万人当たり123(全国平均77)偏差値68)と、78床の減少、率にして8%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



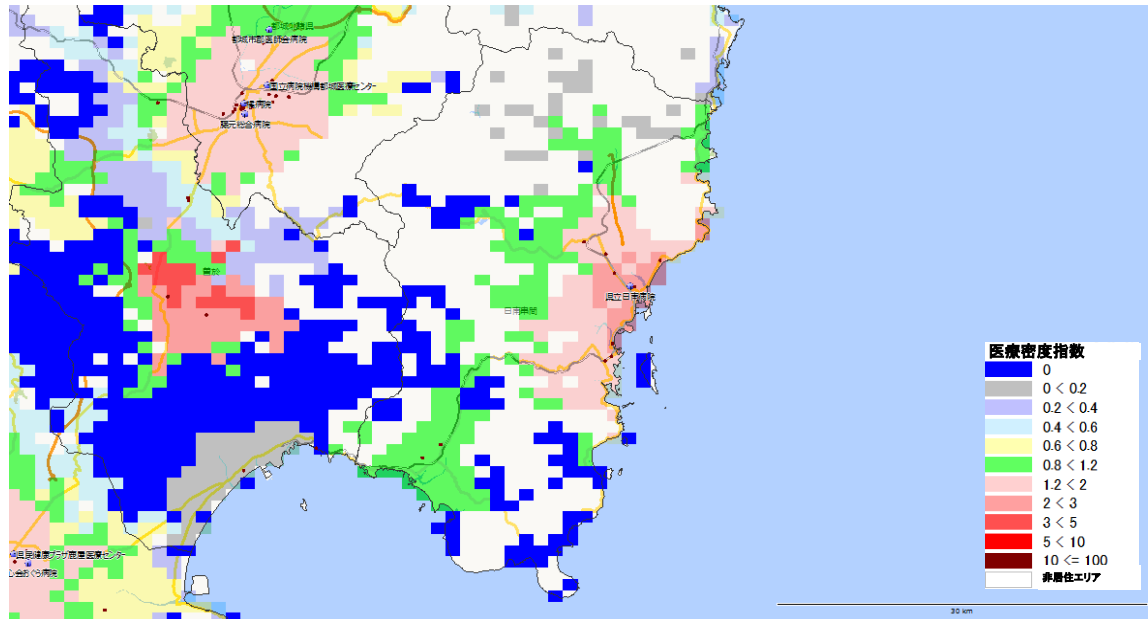
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が419床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2017年に441床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均20)偏差値58)と、22床の増加、率にして5%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



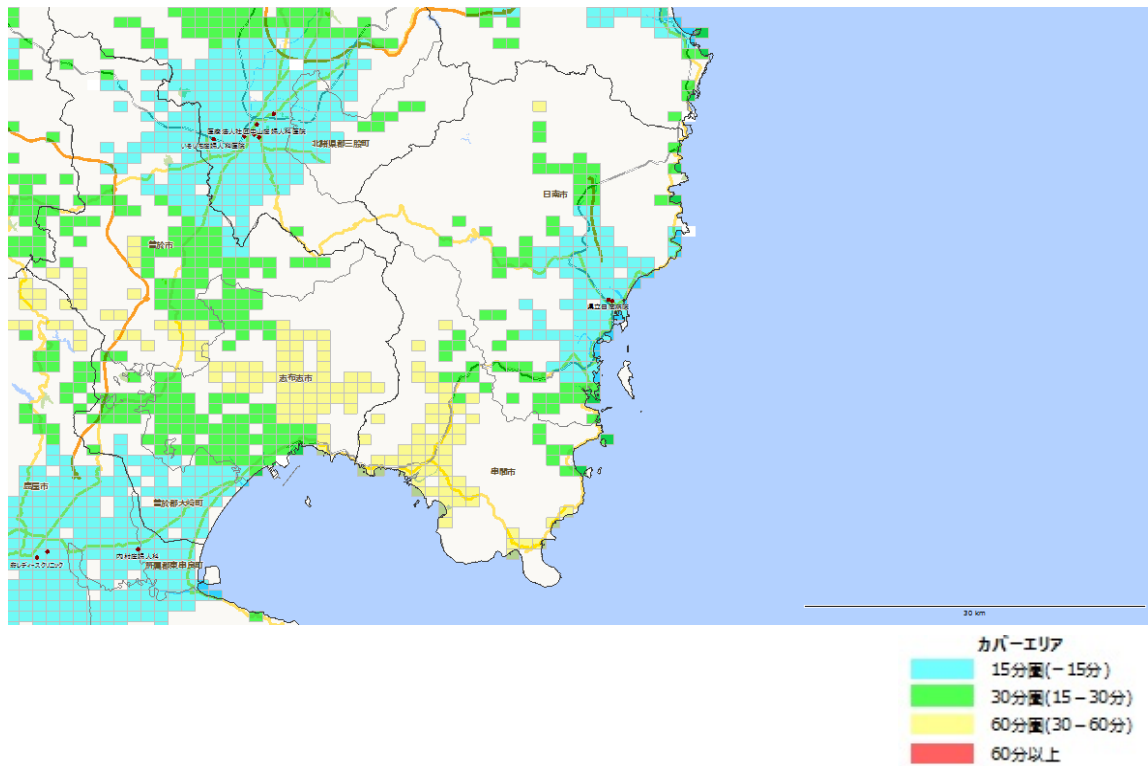
(日南串間医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

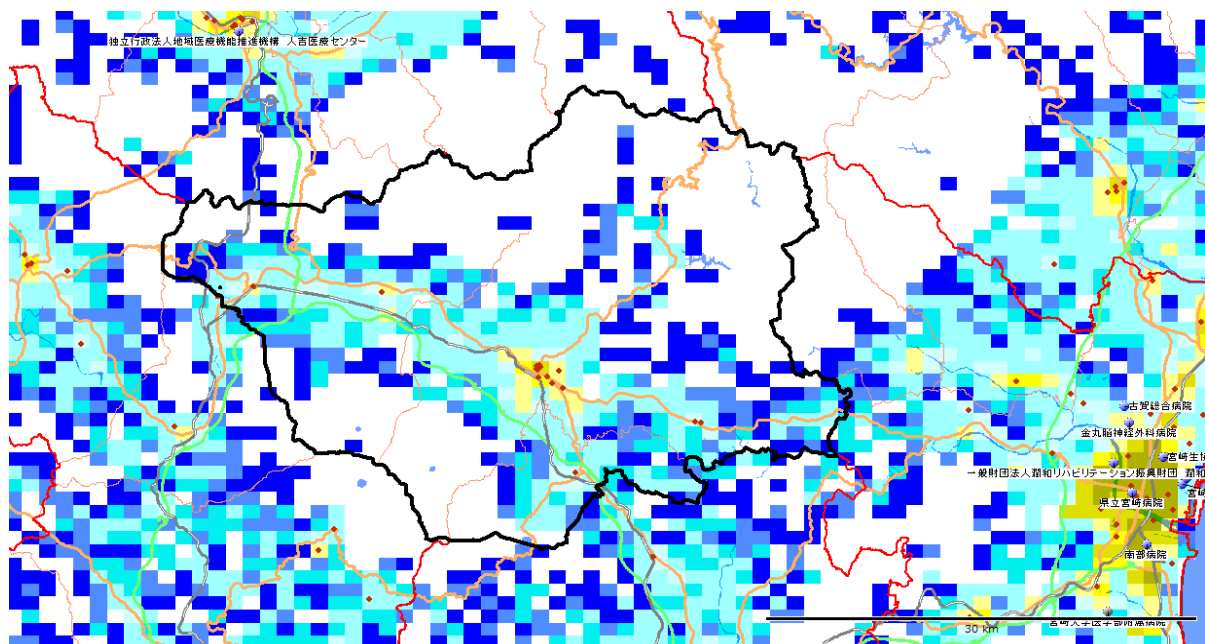


# 45-5. にしもろ 西諸医療圏

構成市区町村 [小林市](#) [えびの市](#) [高原町](#)

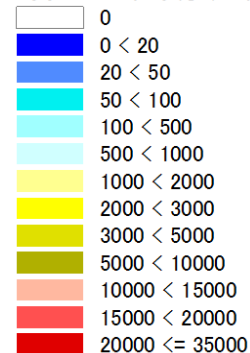
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院





## (西諸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西諸(小林市)は、総人口約75千人(2015年)、面積931km<sup>2</sup>、人口密度は81人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西諸の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に51千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西諸の一人当たり医療費(国保)は408千円(偏差値64)、介護給付費は305千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 西諸の一人当たり急性期医療密度指数は0.72、一人当たり慢性期医療密度指数は1.23で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。西諸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西諸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,555人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,060床(偏差値57)、高齢者住宅等が495床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,317人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設71、有料老人ホーム42、軽費ホーム53、グループホーム70、サ高住31である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、136人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(西諸医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

西諸医療圏の総人口は、2005年83,522人が、2015年に75,059人と10%減少し、2025年の人口が65,109人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

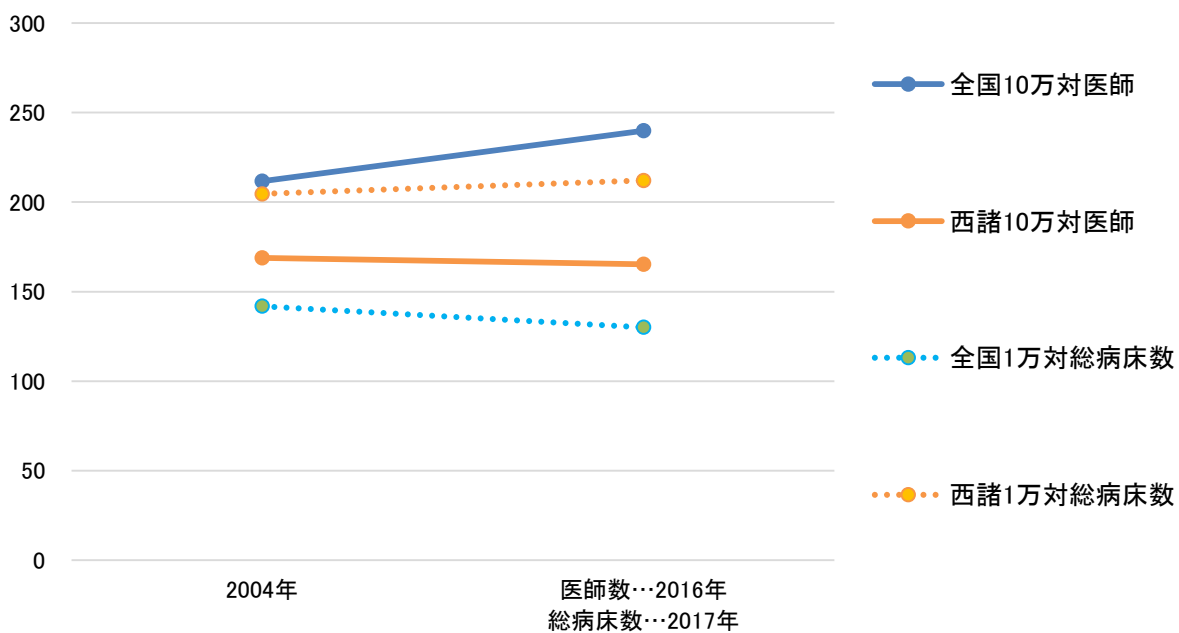
2004年の病院数が18(人口10万人当たり21.6病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2017年に16(人口10万人当たり21.3病院(全国平均6.6)偏差値82)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が61(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2017年に57(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,709床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に1,592床(人口1万人当たり212(全国平均130)偏差値65)と、117床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

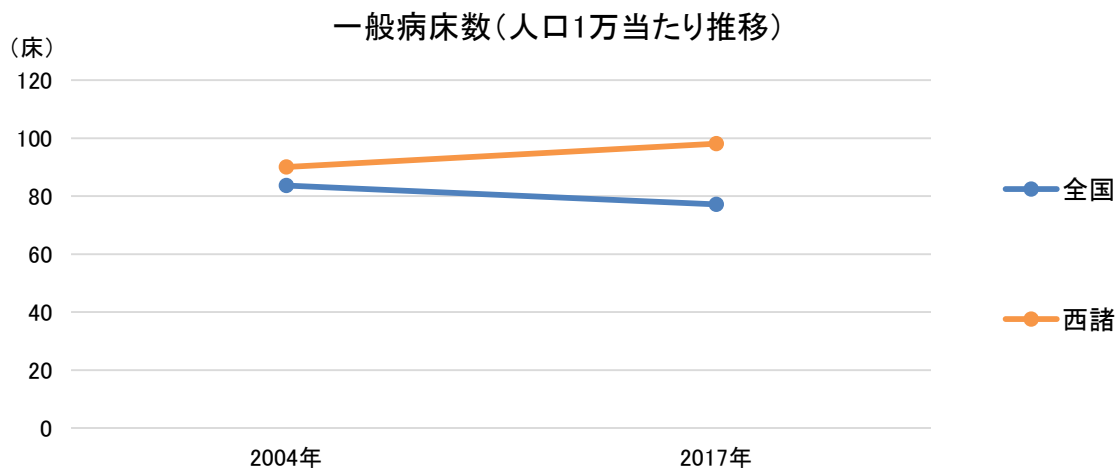
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が141人(人口10万人当たり169人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に124人(人口10万人当たり165人(全国平均240人)偏差値42)と、17人の減少、率にして12%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



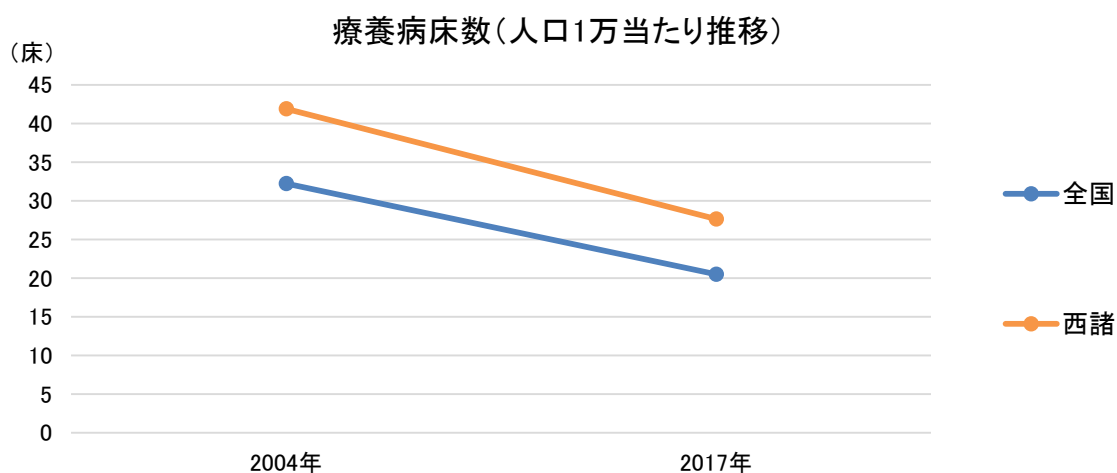
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が752床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に736床(人口1万人当たり98(全国平均77)偏差値58)と、16床の減少、率にして2%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



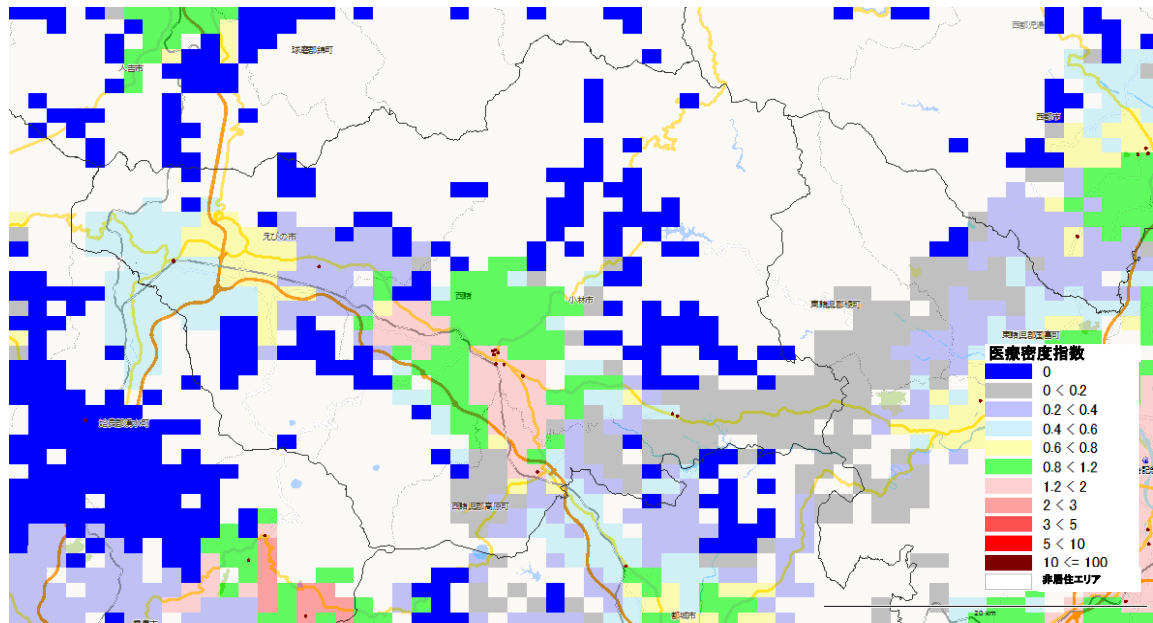
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が522床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2017年に421床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均20)偏差値56)と、101床の減少、率にして19%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



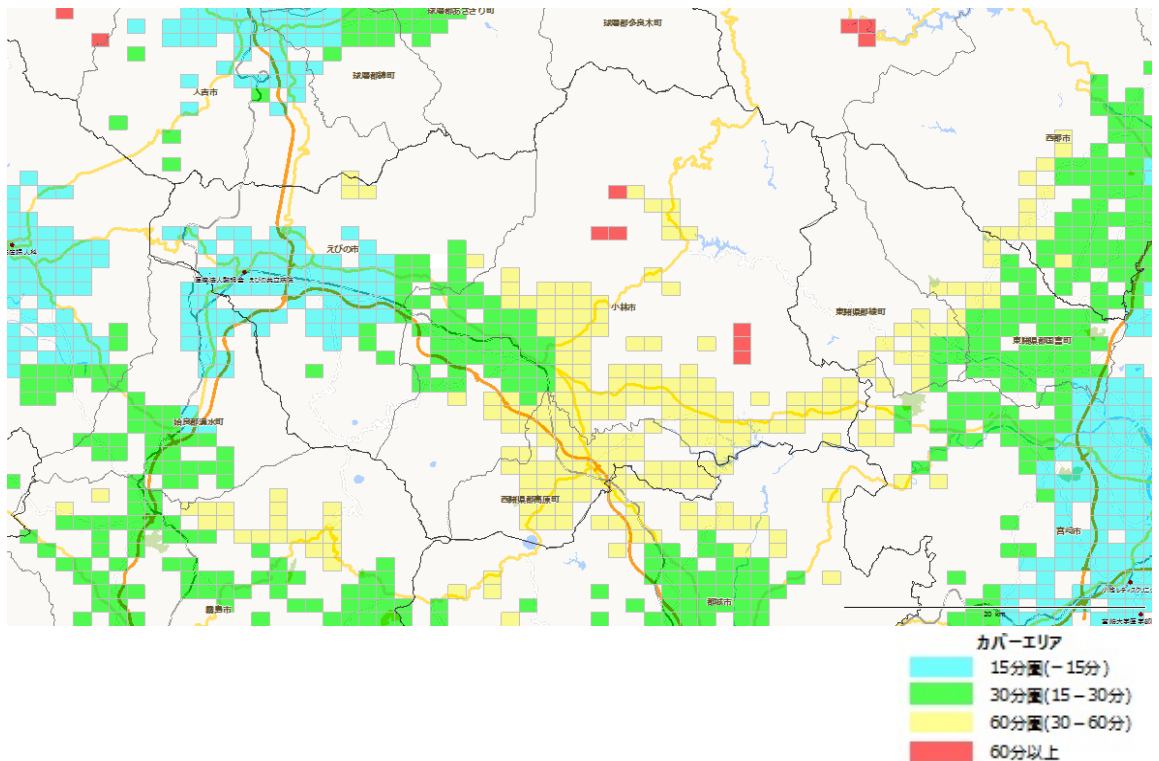
(西諸医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

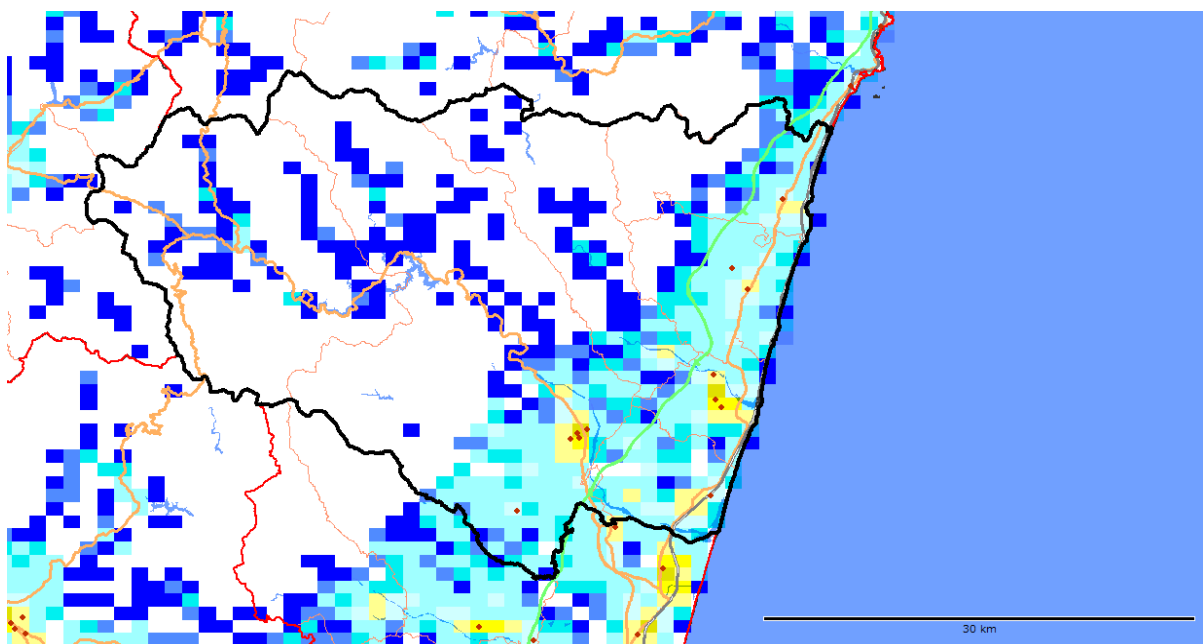


# 45-6. さいとこゆ西都児湯医療圏

構成市区町村 [西都市](#) [高鍋町](#) [新富町](#) [西米良村](#)  
[木城町](#) [川南町](#) [都農町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

## (西都児湯医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西都児湯(西都市)は、総人口約102千人(2015年)、面積1,154km<sup>2</sup>、人口密度は88人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西都児湯の総人口は2025年に90千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に71千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には20千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西都児湯の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値51)、介護給付費は254千円(偏差値51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 西都児湯の一人当たり急性期医療密度指数は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は1.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数37、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西都児湯には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西都児湯の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,477人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,033床(偏差値50)、高齢者住宅等が444床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,281人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住34である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、161人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (西都児湯医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

西都児湯医療圏の総人口は、2005年111,189人が、2015年に101,901人と8%減少し、2025年の人口が89,951人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

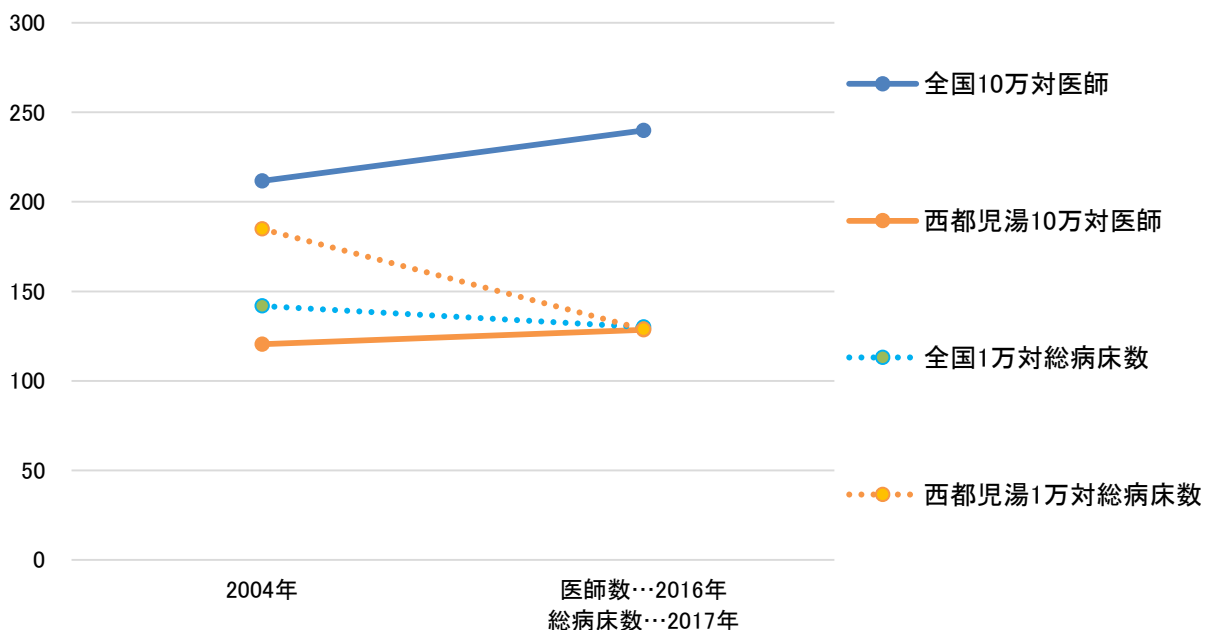
2004年の病院数が12(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2017年に10(人口10万人当たり9.8病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に78(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が2,056床(人口1万人当たり185(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に1,313床(人口1万人当たり129(全国平均130)偏差値50)と、743床の減少、率にして36%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

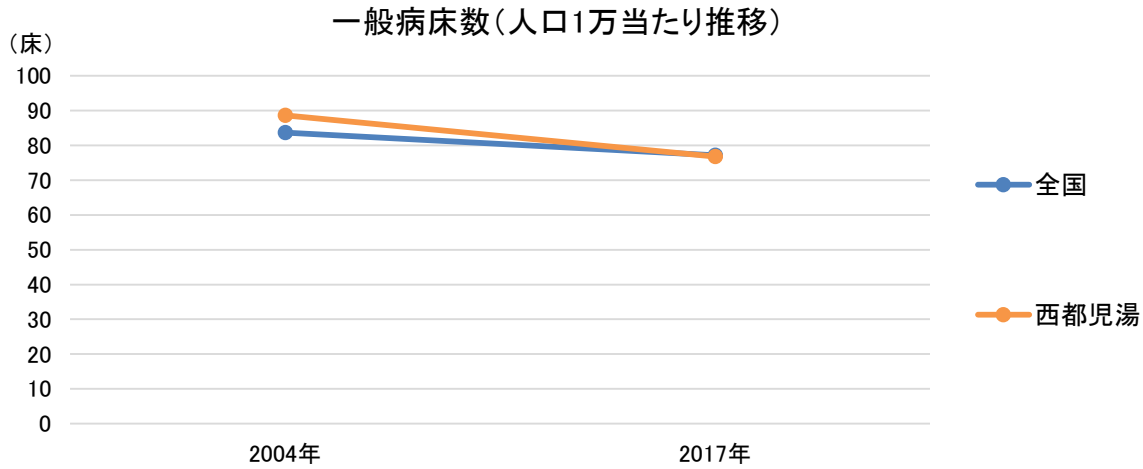
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が134人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に131人(人口10万人当たり129人(全国平均240人)偏差値38)と、3人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



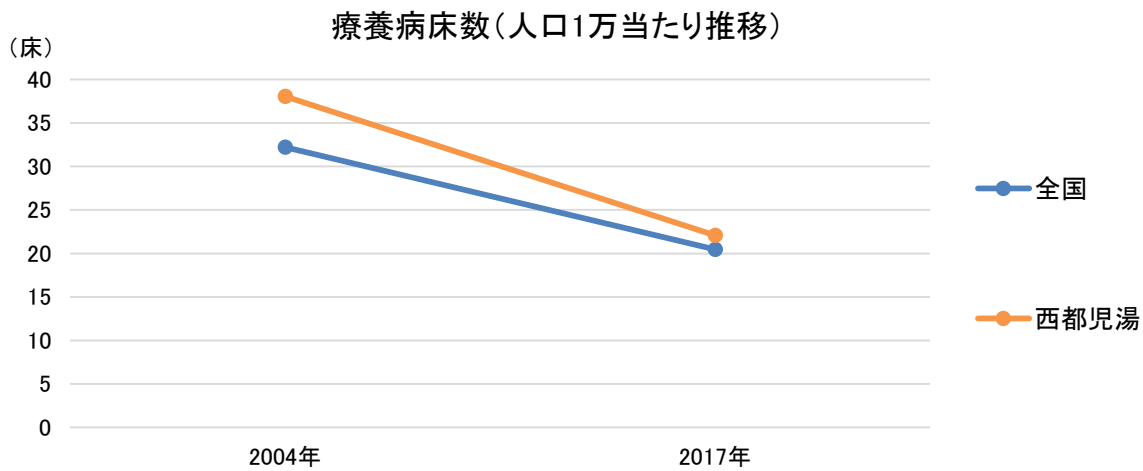
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が985床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に782床(人口1万人当たり77(全国平均77)偏差値50)と、203床の減少、率にして21%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

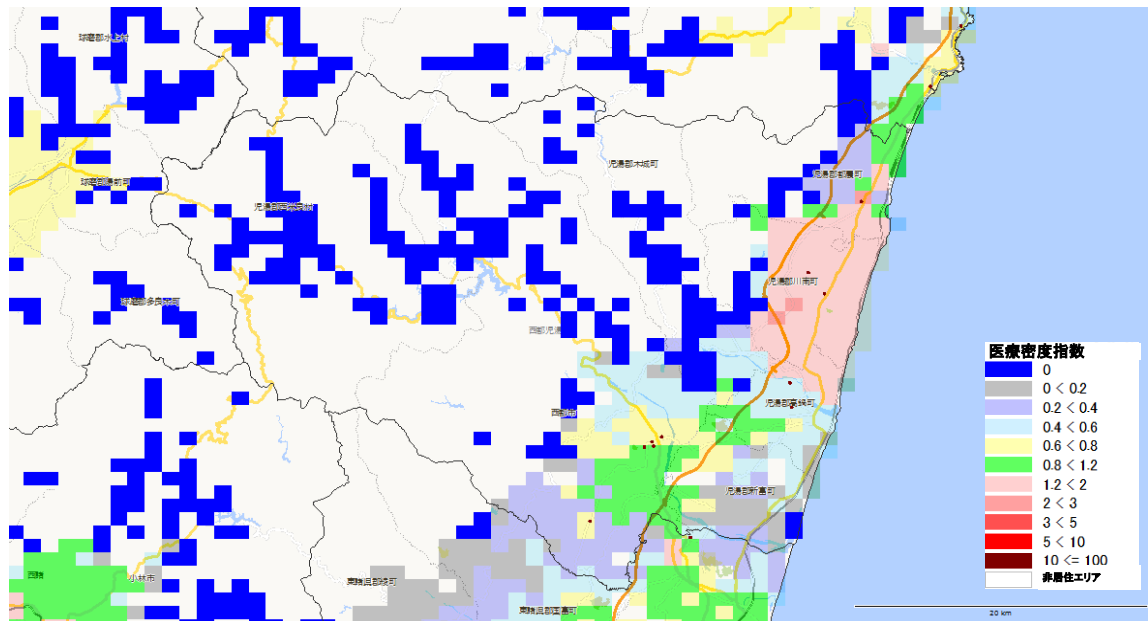
2004年の療養病床(病院+診療所)が518床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2017年に372床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、146床の減少、率にして28%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。





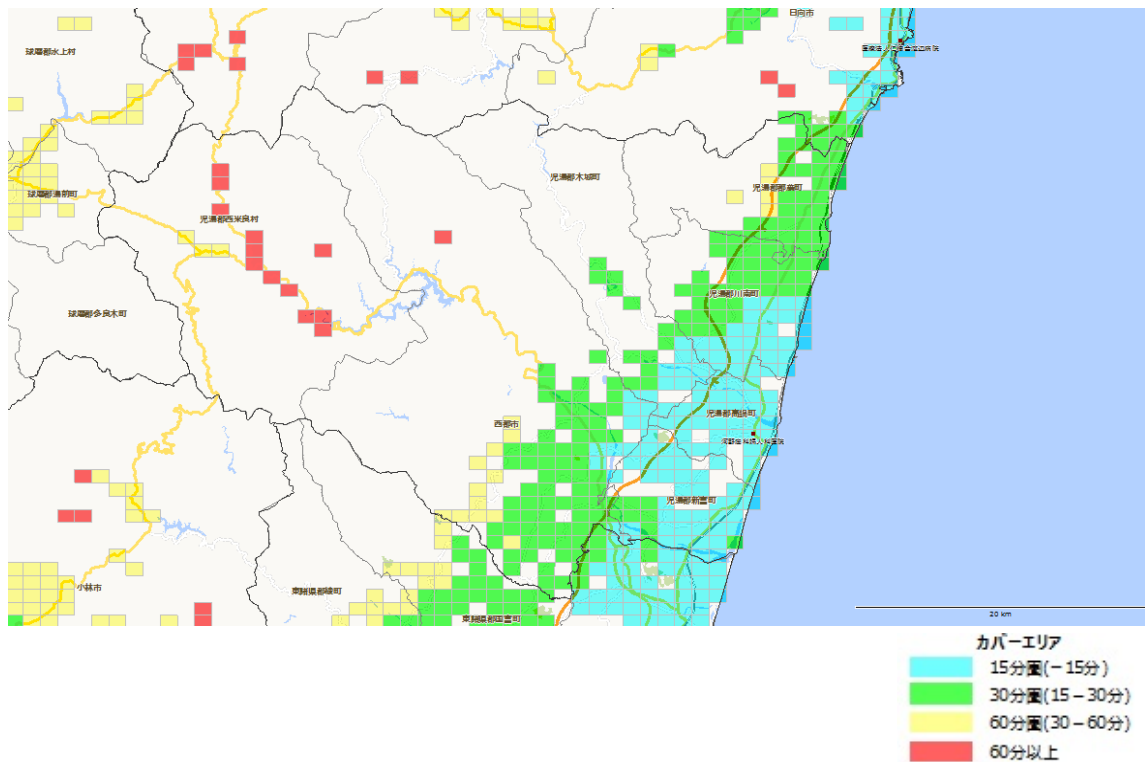
(西都児湯医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

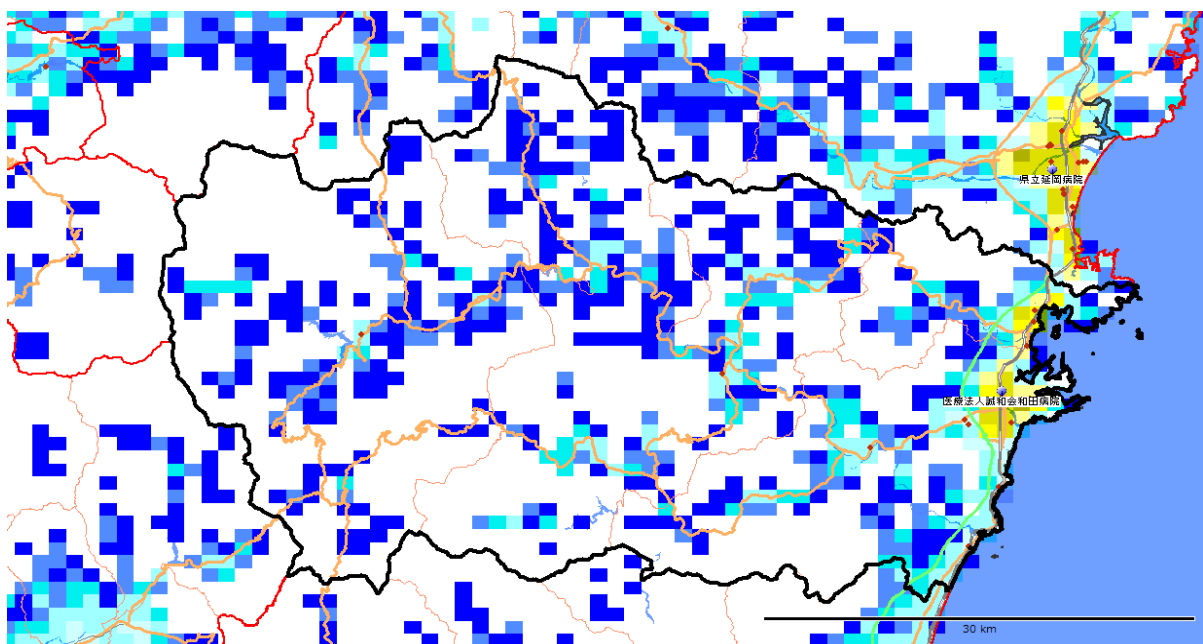


# 45-7. ひゅうがいりごう 日向入郷医療圏

構成市区町村 [日向市](#) [門川町](#) [諸塚村](#) [椎葉村](#)  
[美郷町](#)

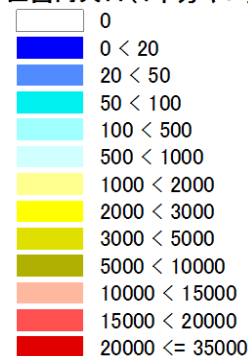
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (日向入郷医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 日向入郷(日向市)は、総人口約90千人(2015年)、面積1,631km<sup>2</sup>、人口密度は55人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 日向入郷の総人口は2025年に81千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に67千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には18千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 日向入郷の一人当たり医療費(国保)は384千円(偏差値59)、介護給付費は241千円(偏差値47)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 日向入郷の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は1.99で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は64と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。日向入郷には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は81で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 日向入郷の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,329人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が866床(偏差値48)、高齢者住宅等が463床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,298人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム48、軽費ホーム53、グループホーム56、サ高住31である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、158人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (日向入郷医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

日向入郷医療圏の総人口は、2005年95,233人が、2015年に89,971人と6%減少し、2025年の人口が81,320人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

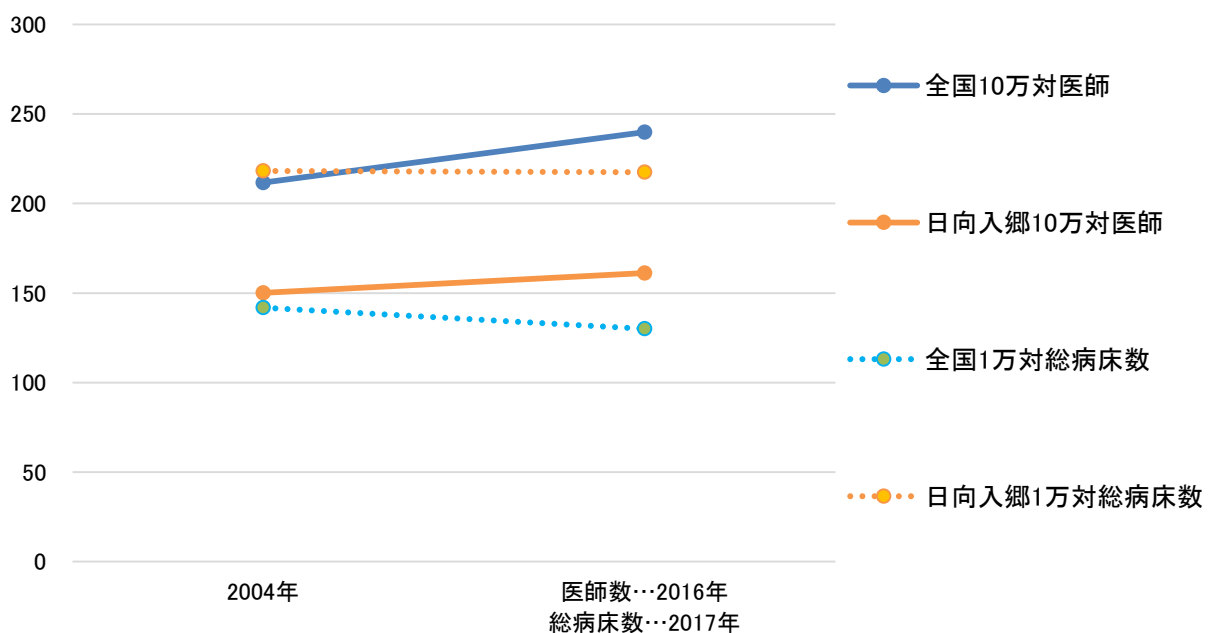
2004年の病院数が15(人口10万人当たり15.8病院(全国平均7.1)偏差値72)であったが、2017年に13(人口10万人当たり14.4病院(全国平均6.6)偏差値67)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が56(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に55(人口10万人当たり61診療所(全国平均80)偏差値40)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,078床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2017年に1,957床(人口1万人当たり218(全国平均130)偏差値66)と、121床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

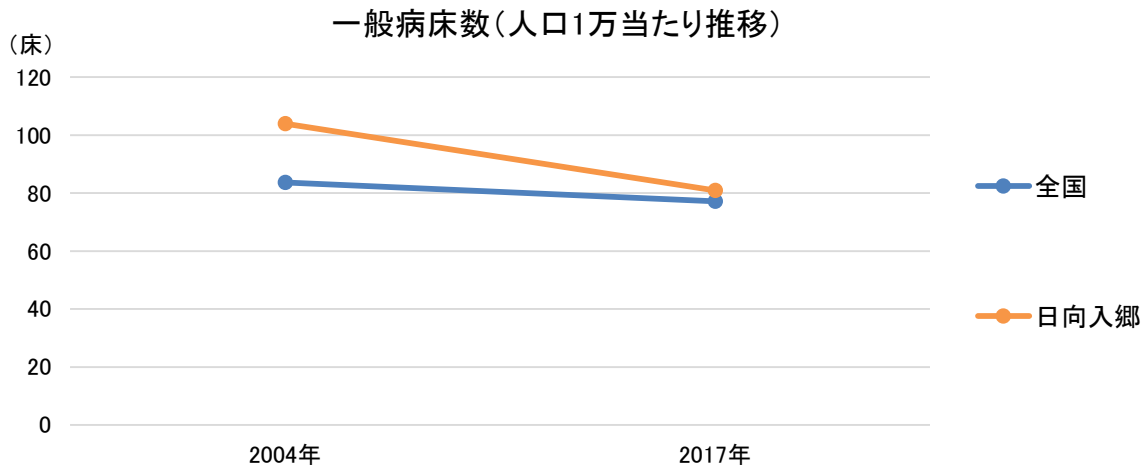
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が143人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に145人(人口10万人当たり161人(全国平均240人)偏差値41)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



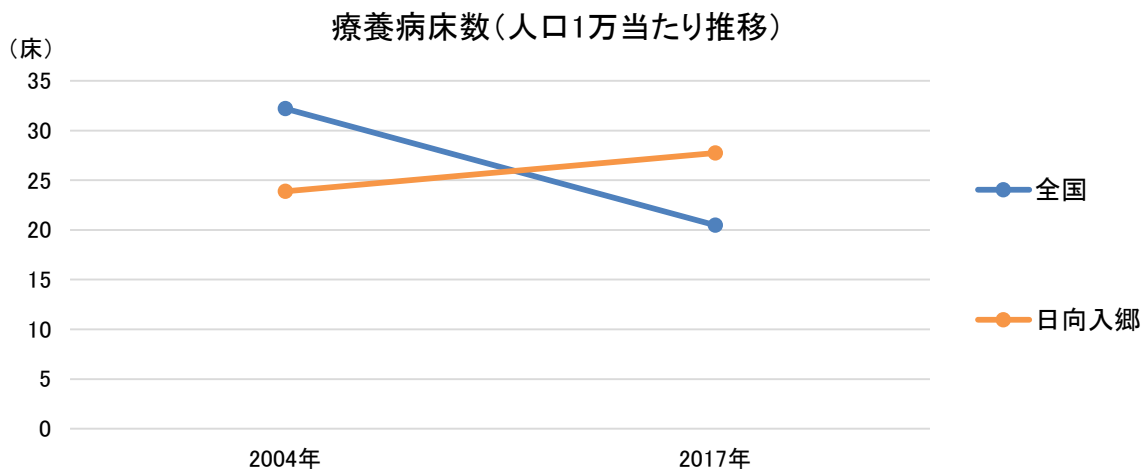
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が990床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に728床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値51)と、262床の減少、率にして26%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



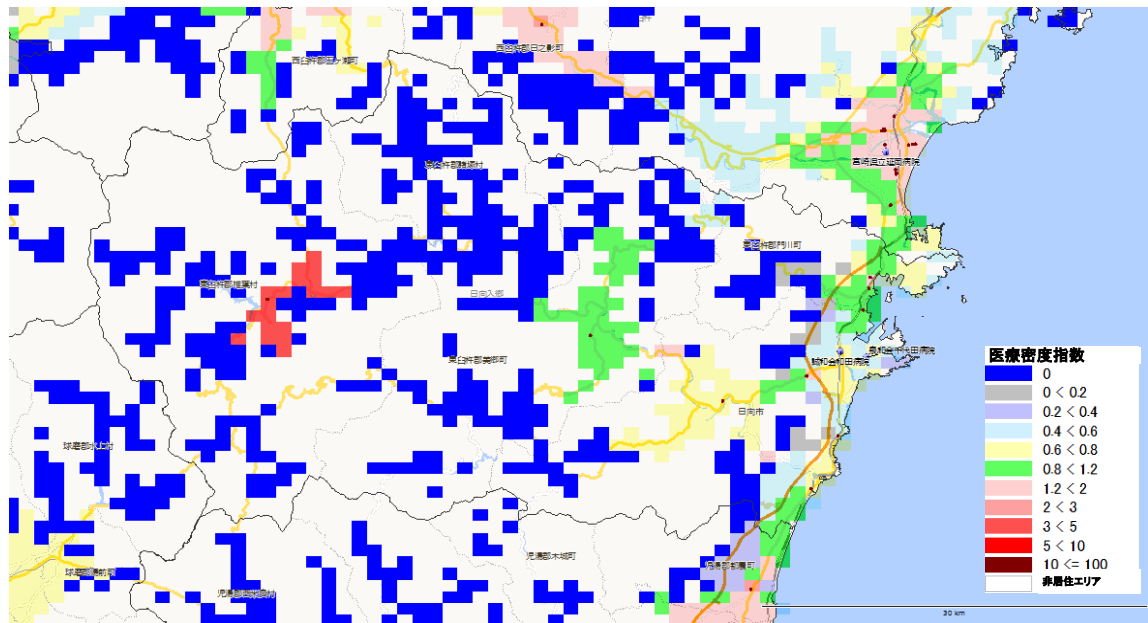
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が270床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に411床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均20)偏差値56)と、141床の増加、率にして52%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



(日向入郷医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表45-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

